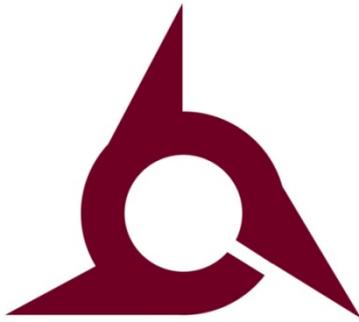


# 京都中部広域消防組合設立 30年のあゆみ







30

## ごあいさつ

京都中部広域消防組合  
管理者 栗山 正隆

## 30周年を祝して

京都中部広域消防組合議会  
議長 木曾 利廣

## 発刊にあたって

京都中部広域消防組合  
消防長 野々村邦広

## 管内の概要

管内の地勢	7
亀岡市	9
南丹市	10
京丹波町	11
歴代役職員名	12

## 30年のあゆみ

消防組合発足に至るまで	17
消防組合発足	17
消防広域業務開始	17
消防組合設立10周年	20
消防組合設立20周年	24
過去30年間における主な災害状況	31

## 総務編

消防予算	35
消防組合の組織機構	37
消防本部署所の配置	38
消防庁舎の現況・消防用車両の現勢	39
職員数の推移	40
職員配置の状況	41
職員教育・研修実績	42
管内人口の推移	43

## 予防編

防火対象物の推移	47
危険物施設の推移	48

## 警防編

火災出動件数の推移	52
救助出動件数の推移	53
救急出動件数の推移	54
ドクターヘリの要請・搬送状況	55
消防相互応援協定の状況	56
消防緊急通信システムの状況	58
指令システムの現況	59
消防無線電話配置の状況	60

## 管内消防団の状況

亀岡市	61
南丹市	63
京丹波町	65
京都中部広域消防連絡協議会	67
京都中部幼年婦人防火委員会	68



## ごあいさつ



### 京都中部広域消防組合

管理者 栗山 正隆

京都中部広域消防組合は、昭和 57 年 4 月 1 日に、当時の亀岡市消防本部を母体に北桑田郡の京北町、美山町と船井郡の園部町、八木町、丹波町、日吉町、瑞穂町、和知町の 1 市 8 町で組織する一部事務組合として発足し、同年 10 月 1 日から 1 本部 2 署 4 出張所、職員 109 名の体制で業務を開始してから、本年で 30 年を迎えました。

この間、市町合併により、消防組合の構成市町は、亀岡市、南丹市、京丹波町の 2 市 1 町となりましたが、数々の災害を教訓として、組織体制、装備ともに充実を図り、今日では、1 本部 2 署 1 分署 4 出張所 186 名の職員を擁し、住民に期待される消防として発展することができました。

この節目の年にあたり、消防組合の 30 年の歩みを振り返り、構成市町をはじめ、京都府並びに組合議会、消防団そして地域住民の皆様から、これまでに賜りました御理解と御協力に対しまして、改めて深く感謝申し上げますとともに、地域住民の皆様の安全・安心を確保するため決意を新たにすところでございます。

近年の社会情勢や気候の変化等により災害の形態や様相は複雑多岐にわたり、昨年の東日本大震災は、巨大地震とこれによる津波や原子力発電所の事故が続き、甚大な被害を出したところであり、日本の防災のあり方を根底から見直す必要性を突き付けられることとなりました。とりわけ、原子力に係る防災体制については、国においても、今なお検討が続けられている状況にあります。

本消防組合管内の市町におきましても、原子力発電所から、半径 30 ㌔圏内に含まれる地域があり、原子力に関する事故が発生した場合の対応について、事前に消防として考えられるすべての対策を取っておく必要を痛感しているところであり、新たな防災能力が求められる状況となっております。

消防組合発足以来 30 年間に積み上げてきました能力を基礎として、住民の安全・安心に対する消防への期待に十分に応えられる消防防災体制の確立に向け、全力を傾注していく所存でございます。

今後とも、皆様の一層の御支援、御協力をお願い申しあげまして、ごあいさつといたします。

## 30周年を祝して



### 京都中部広域消防組合議会 議長 木曾利廣

京都中部広域消防組合の発足 30 周年を心からお祝い申し上げます。

昭和 57 年 4 月に常備消防が誕生してから、本年で 30 年目を迎えられることは、誠に意義深く存じます。

顧みますと、この 30 年の間に、消防署所の整備や消防車両の更新、また、各種資機材等の近代化を図られ、堅実な発展を遂げてこられましたことは、関係各位のたゆまぬ御努力と地域の方々の御協力の賜であり、心から深く敬意を表するものであります。

近年の社会情勢の変化、気象の変化による火災や風水害、加えて地震など、自然災害を含め、その形態は複雑多様化しており、住民の安全・安心への希求は、おのずと消防機関に対する期待へとつながっています。

この意味におきましても、住民の生命、身体、財産を守る消防の使命は一段と重要になっており、今後、さらに他の防災機関、医療機関などの関係機関が連携協力し、災害に強いまちづくりにまい進することが肝要であると存じます。

消防組合におかれましても、30 年にわたる歳月の中で培って来られた伝統や積み重ねられた経験を生かされ、さらなる精進により、14 万 3 千住民の皆様の信頼と負託にこたえるために、組合議会といたしましても、消防力の充実、消防施設・装備の充実強化を図り、安全で住みよい郷土づくりのため、積極的に推進してまいる所存でございます。

今後とも、管内住民の期待に応えるため、輝かしい 30 周年を契機として、ますますの御発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

## 発刊にあたって



### 京都中部広域消防組合 消防長 野々村 邦広

このたび、昭和 57 年 4 月に京都中部広域消防組合が発足して 30 周年という記念すべき節目の年を迎えました。

この間、管理者をはじめとして、消防関係各位、先輩諸兄が、ひたすら災害から住民を守ることに徹し、また、絶えず社会情勢の変化に対応しながら礎石を一つひとつ積み重ねてこられたことに対し、心から深く敬意を表するとともに、地域住民の皆様からいただいた様々な御支援あつてのことと深く感謝申し上げる次第であります。

近年の消防行政を取り巻く環境は、社会情勢の変化や災害形態の複雑化・多様化・大規模化のほか、増加の一途をたどる救急需要への対応をはじめ、高度情報通信化に代表される急速な技術革新など、著しく変化しており、これに対応するため、各分野にわたって専門性が求められております。

このような情勢の中で、構成市町の関係者の御理解のもと、長年にわたり先輩諸兄が築きあげてこられた歴史を誇りとし、時代の変化に対応した消防・防災体制の充実強化を図り、消防団と消防本部がより緊密な連携と強調を図りながら 14 万 3 千人の地域住民の皆様とともに「安心して暮らせる災害に強いまちづくり」を目指し、その信頼と期待に応えるべく決意を新たにしますのでございます。

ここに 30 年にわたる本消防組合の歩んだ足跡を振り返り、今後のさらなる発展を誓い、この記念誌を発刊いたしました。

本書が、今後の京都中部広域消防組合を御理解いただくうえで皆様にお役立ていただければ幸いです。

結びに、今後とも、皆様方から変わらぬ御指導を賜りますようお願い申し上げます。



## 管内の概要

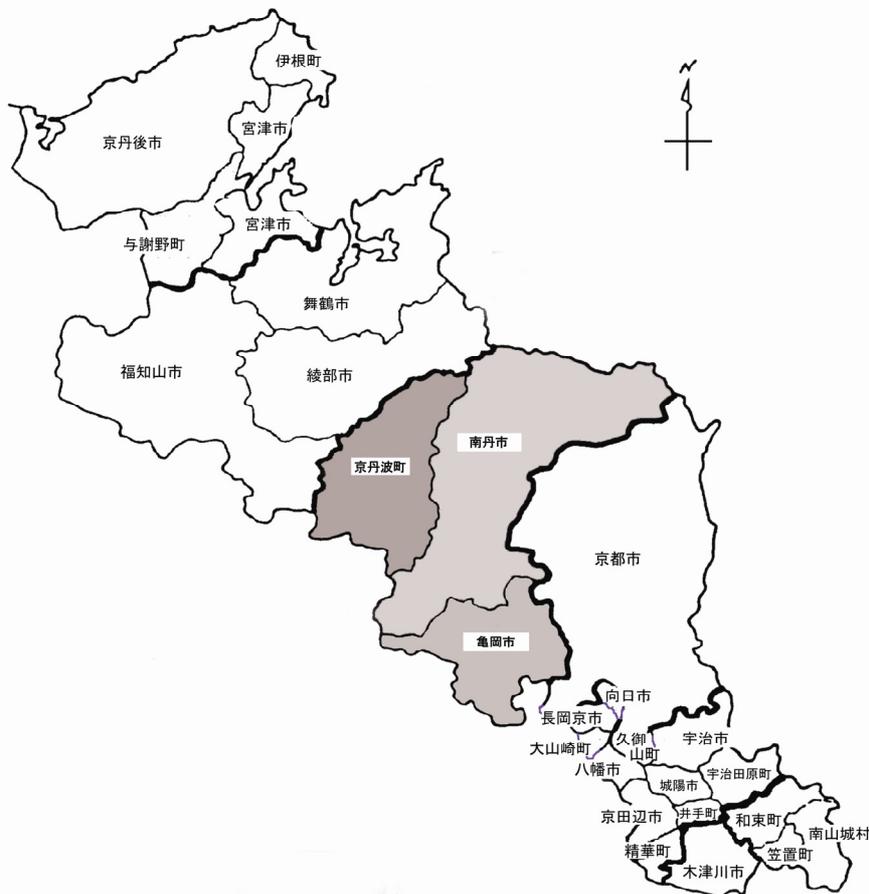


## 管内の地勢

当消防組合は、亀岡市を中核として、南丹市及び京丹波町の2市1町で構成され、京都府の中央部にあって、地勢は大阪湾に流れる桂川（淀川水系）と日本海に流れる由良川の分水界にあたる丹波高原一帯からなり、人口は約14.3万人、京都府総面積4,613.13k㎡の約4分の1を占める1,144.28k㎡を有しています。

この地域は、北東部に標高700mを超える山岳が連なり、福井県と接し、西部はなだらかな山並みが広がり兵庫県と、南部は亀岡盆地があって、大阪府、京都市と接しており、古来畿内から山陰や日本海方面に向かう重要な交通路として、また都の西門にあたる戦略上の拠点として発展してきました。

主要交通としては、JR山陰本線が圏域の南西部を縦に貫き、京都市、福知山市、綾部市と結んでいます。また、高規格道路の京都縦貫自動車道が京都市から京丹波町を経て（一部区間を除く。）宮津市に、一般道路の国道9号線が京都市から福知山市に、同27号線が京丹波町から舞鶴市に、国道162号線が南丹市美山町を南北に縦断して福井県と結んでいます。さらに、国道173号線が、京丹波町の瑞穂地域から南へは阪神都市圏に、北へは綾部市に至っています。





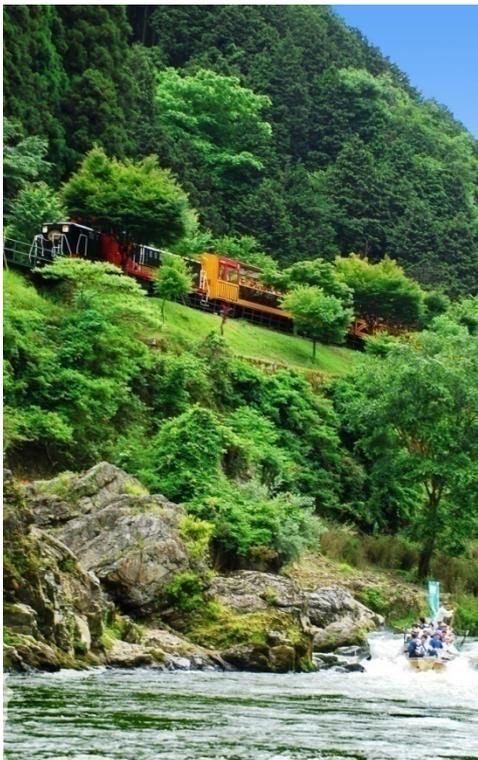


## 亀岡市

市の花 つつじ  
市の木 桜



亀岡市長  
栗山正隆



### 「世界に誇る安全・安心のまち亀岡」 「温もり にぎわい ころろ通う 共生のまち亀岡」

亀岡市は、京都府のほぼ中央に位置し、四方を山に囲まれ、中央部を保津川が流れる山紫水明の地で、昭和30年1月、京都府で7番目の市として誕生しました。

本市では、WHO（世界保健機関）の「セーフコミュニティ」認証を取得した日本で初めての自治体としての誇りと自覚を持ち、セーフコミュニティの理念のもと、すべての施策を横断的に連携させ、「地域の安全・安心」という共通の目標を持って、多くの市民や関係機関と共に、誰もが安全に安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいます。

今後とも、市民の協働参画、地域ぐるみの「安全・安心」の取り組みを推進する中で、人と人のきずなを一層強め、「温もり にぎわい ころろ通う 共生のまち」を目指して、全力を挙げて市政を推進していきます。

### 「JR 亀岡駅」「のどかめロード」「亀岡駅前広場」

JR 嵯峨野線の複線化工事に合わせて進めてきましたJR 新亀岡駅舎と自由通路（のどかめロード）が平成20年4月、駅前広場が平成22年3月に完成しました。亀岡の新たなまちの顔となる JR 新亀岡駅舎は、亀岡の美しい山並み、母なる川 保津川の流れ、市の3大観光の一つである保津川下りの船をイメージしたデザインで、亀岡の美しい自然と調和しています。交番や観光案内所なども備えるなど、利便性に優れ、だれもが快適に利用いただけます。



### 「保津川下り」とトロッコ列車

保津川下りは亀岡から京都の名勝嵐山までの16kmの渓流を2時間で下るスリルに満ちた豪快な船下りです。岩つつじ、新緑、紅葉、雪景色と四季それぞれの趣をもった美しい景観は保津川ならではのものです。保津川下りと並行して通っているのがトロッコ列車。四季折々に美しい自然を満喫させてくれるのが、鉄橋上の絶景タイムで、保津川下りとのやり取りも微笑ましさをかもし出してくれます。



## 南丹市

市の花 さくら  
市の木 ぶな  
市の鳥 オオルリ



南丹市長  
佐々木 稔納

南丹市は、京都府のほぼ中央部に位置し、北は福井県と滋賀県、南は兵庫県と大阪府、西は綾部市、京丹波町、東は京都市、亀岡市に隣接する面積 616.31 平方キロメートル（京都府の 13.4 パーセント）のまちです。地勢については、緑豊かな自然に恵まれた地域で、大半を丹波山地が占め、北部を由良川が、中・南部を淀川水系の桂川（大堰川）が流れ、その間にいくつかの山間盆地が形成され、南部は亀岡盆地につながっています。年平均気温は、13 度前後で、山陰内陸性気候となっています。道路基盤は、北部に国道 162 号、南部に国道 9 号、国道 477 号、国道 372 号、京都縦貫自動車道が走っており、域内を走る各府道が国道へのアクセス道路となっています。また、鉄道は南東の京都市から北西にかけて J R 山陰本線が走っており、京都市などの通勤圏にあり、さらに J R 山陰本線京都・園部間の完全複線化も実施されました。また、まちづくりにおいては「南丹市総合振興計画」を平成 20 年 3 月に策定し、かけがえのない“ひと”と“もの”を南丹市の宝としていっそう磨いていくため、「みんなの笑顔 元気を合わせ 誇りときずなで未来を創る」をまちづくりのテーマとし、市の将来イメージを「森・里・街がきらめく ふるさと 南丹市」として「生きがい定住都市構想」「やすらぎの郷構想」「きずなと交流のネットワーク構想」「きらめきパートナーシップ構想」をまちづくりの基本目標として掲げています。

このまちづくりの基本目標を実現するために「生涯充実して暮らせる都市を創る」「自然・文化・人を活かした郷を創る」「人・物・情報を高度につなげる」「共に担うまちづくりの仕組みを築く」の 4 つを基本計画として、それぞれの施策の推進に努めています。



園部（府立自然公園「るり溪」鳴瀑）



八木（大堰川の桜並木）



日吉（日吉ダム）



美山（重要伝統的建造物群保存地区「かやぶきの里」）



## 京丹波町

町の花 つつじ  
町の木 イチョウ  
町の鳥 うぐいす



京丹波町長  
寺尾 豊 爾

### 京丹波町の概要

京都府の中央部、丹波高原の由良川上流部に位置する京丹波町は、平成17年10月11日に丹波町、瑞穂町、和知町が合併して誕生しました。

人口は約16,000人。丹波高原にあつて、長老ヶ岳（917m）のほか標高400～900メートルの緑深き山々に囲まれ、南側の山地は分水嶺の一部を成しています。面積303.07平方キロメートルのうち約83%を森林が占める中山間地ながら、古くから都と山陰地方を結ぶ交通の要衝として栄え、現在も京都縦貫自動車道やJR山陰本線、3つの国道が交わり、京阪神の大都市圏へ1時間あまりで移動できるなど交通環境に恵まれた地域です。

そうした中、平成26年度に供用予定の京都縦貫自動車道丹波綾部道路の完成に合わせた「丹波パーキングエリアと一体的な地域振興拠点」の整備や畑川ダムの完成による新規水源の確保など、未来への発展に向けた基盤整備を着実に進めているところです。

一方、四季折々にその姿を美しく変える「琴滝」や、京都府内唯一の鍾乳洞「質志鍾乳洞」、丹波高原の雄峰「長老ヶ岳」などの観光客をひきつける景勝地のほか、府立丹波自然運動公園やグリーンランドみずほなどの施設を拠点にスポーツに親しむ人が多数訪れる環境があります。歴史ある建造物や史跡も多く、和知人形浄瑠璃など古くから受け継がれてきた民俗芸能の保存活動も盛んに行われています。

京丹波町は、歴史や伝統、豊かな自然を大切に、丹波高原の気候、文化、自然環境の「風土」と、そこから生まれる高いブランド力をもつ「食」を軸にした個性あるまちの創造をめざしています。



#### 名勝 琴滝

高さ40mの一枚岩の上を、流れ落ちる水が13弦の琴糸のように美しい滝。



#### 質志鍾乳洞

京都府唯一の鍾乳洞。公園内はキャンプ、バードウォッチング、ハイキングなどが楽しめます。

#### 長老ヶ岳

丹波地方を代表する山。標高917mの山頂からのパノラマが素晴らしく、天気の良い日は遠く日本海が望めます。



## 歴代役職員名

### 管理者

歴代	氏名	在職期間	附記
初代	谷口 義久	自 昭和57年4月1日 至 平成11年1月29日	亀岡市長
2代	田中 英夫	自 平成11年2月12日 至 平成15年10月9日	〃
3代	栗山 正隆	自 平成15年11月18日 現在に至る	〃

### 副管理者

町名	歴代	氏名	在職期間	附記
亀岡市	初代	西村 美孝	自 昭和57年4月1日 至 昭和57年11月14日	亀岡市助役
	2代	芦田 進	自 昭和58年4月1日 至 昭和62年3月31日	〃
	3代	田中 英夫	自 昭和62年4月1日 至 昭和62年6月30日	〃
	4代	山名 義雄	自 昭和62年7月1日 至 平成4年12月31日	〃
	5代	井内 潔	自 平成5年1月1日 至 平成8年12月31日	〃
	6代	山名 義雄	自 平成9年1月1日 至 平成9年3月20日	〃
	7代	谷村 幸男	自 平成9年3月21日 至 平成17年3月20日	〃
	8代	寸田 武	自 平成17年4月1日 至 平成19年3月31日	〃
	9代	畠中 一樹	自 平成19年4月1日 至 平成21年3月31日	亀岡市副市長
	10代	山崎 達雄	自 平成21年4月1日 至 平成24年3月31日	〃
	11代	勝見 彰	自 平成24年4月1日 現在に至る	〃
南丹市	初代	中川 圭一	自 平成18年2月19日 至 平成18年3月15日	南丹市長
	2代	佐々木 稔納	自 平成18年4月30日 現在に至る	〃
京丹波町	初代	松原 茂樹	自 平成17年11月20日 至 平成21年11月19日	京丹波町長
	2代	寺尾 豊爾	自 平成21年11月20日 現在に至る	〃

町名	歴代	氏名	在職期間	附記
旧京北町	初代	平岩 祐夫	自 昭和 57 年 4 月 1 日 至 昭和 60 年 6 月 24 日	旧京北町長
	2代	村山 正美	自 昭和 60 年 6 月 25 日 至 平成 元年 6 月 24 日	〃
	3代	野上 茂	自 平成 元年 6 月 25 日 至 平成 9 年 6 月 24 日	〃
	4代	石浦 道男	自 平成 9 年 6 月 25 日 至 平成 17 年 1 月 24 日	〃
旧美山町	初代	山内 忠一	自 昭和 57 年 4 月 1 日 至 平成 7 年 4 月 19 日	旧美山町長
	2代	中田 脩	自 平成 7 年 4 月 23 日 至 平成 15 年 4 月 24 日	〃
	3代	中島 三夫	自 平成 15 年 4 月 27 日 至 平成 17 年 12 月 31 日	〃
旧園部町	初代	野中 一二三	自 昭和 57 年 4 月 1 日 至 平成 17 年 12 月 31 日	旧園部町長
旧八木町	初代	細見 健	自 昭和 57 年 4 月 1 日 至 平成 4 年 2 月 7 日	旧八木町長
	2代	中川 泰宏	自 平成 4 年 2 月 23 日 至 平成 14 年 3 月 19 日	〃
	3代	岸上 吉治	自 平成 14 年 5 月 5 日 至 平成 17 年 12 月 31 日	〃
旧丹波町	初代	田端 長夫	自 昭和 57 年 4 月 1 日 至 昭和 58 年 4 月 29 日	旧丹波町長
	2代	山崎 高明	自 昭和 58 年 4 月 30 日 至 平成 6 年 7 月 8 日	〃
	3代	横山 義雄	自 平成 6 年 8 月 28 日 至 平成 17 年 10 月 10 日	〃
旧日吉町	初代	湯浅 宏	自 昭和 57 年 4 月 1 日 至 平成 7 年 4 月 29 日	旧日吉町長
	2代	芦田 四郎	自 平成 7 年 4 月 30 日 至 平成 11 年 4 月 29 日	〃
	3代	仲村 脩	自 平成 11 年 4 月 30 日 至 平成 17 年 12 月 31 日	〃
旧瑞穂町	初代	畠中 正二	自 昭和 57 年 4 月 1 日 至 昭和 62 年 4 月 29 日	旧瑞穂町長
	2代	黒田 一夫	自 昭和 62 年 4 月 30 日 至 平成 17 年 10 月 10 日	〃
旧和知町	初代	竹内 義男	自 昭和 57 年 4 月 1 日 至 昭和 62 年 1 月 27 日	旧和知町長
	2代	野間 靖隆	自 昭和 62 年 1 月 28 日 至 平成 3 年 1 月 27 日	〃
	3代	十倉 健	自 平成 3 年 1 月 28 日 至 平成 7 年 1 月 27 日	〃
	4代	野間 靖隆	自 平成 7 年 1 月 28 日 至 平成 15 年 1 月 27 日	〃
	5代	堀 郁太郎	自 平成 15 年 1 月 28 日 至 平成 17 年 10 月 10 日	〃

## 議会議長

歴代	氏名	在職期間	附記
初代	松浦 芳実	自 昭和 57 年 4 月 1 日 至 昭和 58 年 2 月 4 日	亀岡市議会議長
2代	桂 実郎	自 昭和 58 年 2 月 28 日 至 昭和 62 年 2 月 4 日	〃
3代	松浦 芳実	自 昭和 62 年 2 月 28 日 至 平成 4 年 3 月 27 日	〃
4代	美馬 靖征	自 平成 4 年 6 月 6 日 至 平成 7 年 2 月 4 日	〃
5代	竹岡 良藏	自 平成 7 年 2 月 28 日 至 平成 8 年 3 月 28 日	〃
6代	光島 利史	自 平成 8 年 7 月 22 日 至 平成 9 年 5 月 9 日	〃
7代	長沢 宏	自 平成 9 年 5 月 9 日 至 平成 11 年 2 月 4 日	〃
8代	小塩 正幸	自 平成 11 年 2 月 26 日 至 平成 12 年 2 月 15 日	〃
9代	湯浅 誠一	自 平成 12 年 2 月 28 日 至 平成 13 年 2 月 28 日	〃
10代	野々村 勉	自 平成 13 年 2 月 28 日 至 平成 14 年 2 月 15 日	〃
11代	堤 松男	自 平成 14 年 2 月 28 日 至 平成 15 年 2 月 15 日	〃
12代	石野 正作	自 平成 15 年 2 月 21 日 至 平成 16 年 2 月 16 日	〃
13代	野々村 嘉平	自 平成 16 年 2 月 26 日 至 平成 17 年 2 月 16 日	〃
14代	田中 義雄	自 平成 17 年 2 月 25 日 至 平成 18 年 2 月 16 日	〃
15代	竹岡 良藏	自 平成 18 年 3 月 29 日 至 平成 19 年 2 月 4 日	〃
16代	田中 義雄	自 平成 19 年 2 月 27 日 至 平成 21 年 2 月 16 日	〃
17代	松本 富雄	自 平成 21 年 2 月 26 日 至 平成 23 年 2 月 4 日	〃
18代	石野 善司	自 平成 23 年 2 月 25 日 至 平成 24 年 2 月 23 日	〃
19代	木曾 利廣	自 平成 24 年 2 月 29 日 現在に至る	〃

## 収入役

歴代	氏名	在職期間	附記
初代	安藤 重直	自 昭和 57 年 4 月 1 日 至 昭和 60 年 4 月 5 日	亀岡市収入役
2 代	山名 義雄	自 昭和 60 年 4 月 6 日 至 昭和 62 年 6 月 30 日	〃
3 代	井内 潔	自 昭和 62 年 7 月 1 日 至 平成 4 年 12 月 31 日	〃
4 代	中川 太郎	自 平成 5 年 1 月 1 日 至 平成 12 年 12 月 31 日	〃
5 代	畠中 一樹	自 平成 13 年 1 月 1 日 至 平成 17 年 3 月 31 日	〃

## 消防長

歴代	氏名	在職期間	附記
初代	溝口 弘和	自 昭和 57 年 4 月 1 日 至 昭和 59 年 3 月 31 日	
2 代	森川 唯男	自 昭和 59 年 5 月 1 日 至 昭和 60 年 3 月 30 日	昭和 59 年 4 月 1 日から 4 月 30 日まで消防長職務代理者
3 代	山口 真一	自 昭和 60 年 4 月 1 日 至 昭和 63 年 3 月 31 日	
4 代	松本 貞男	自 昭和 63 年 4 月 1 日 至 平成 6 年 3 月 31 日	
5 代	岸本 有重	自 平成 6 年 4 月 1 日 至 平成 10 年 3 月 31 日	
6 代	田中 義啓	自 平成 10 年 4 月 1 日 至 平成 11 年 3 月 31 日	
7 代	吉岡 弘行	自 平成 11 年 4 月 1 日 至 平成 13 年 3 月 31 日	
8 代	村上 勝	自 平成 13 年 4 月 1 日 至 平成 15 年 3 月 31 日	
9 代	西田 廣道	自 平成 15 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日	
10 代	芦田 俊孝	自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 22 年 3 月 31 日	
11 代	野々村 邦広	自 平成 22 年 4 月 1 日 現在に至る	



30年のあゆみ



## 消防組合発足に至るまで

昭和 47 年	
3 月	北桑田・船井地区広域市町村圏の消防常備計画の決定
昭和 54 年	
8 月	亀岡市消防本部・亀岡市消防署庁舎完成（現組合消防本部・亀岡消防署）
昭和 56 年	
5 月	京都中部地区広域市町村圏の広域常備消防体制整備計画の協議開始
昭和 57 年	
1 月	北桑田・船井郡の 8 町に消防本部等設置政令指定の内定
2 月	京都中部地区市町村圏の広域消防計画の最終決定

## 消防組合発足

昭和 57 年		
4 月	1 日	京都中部地域の消防の常備化を確立するため、亀岡市消防本部、署を発展的に解消し、亀岡市、北桑田郡及び船井郡の 1 市 8 町により京都中部広域消防組合を設立〔職員数 109 人（条例定数 132 人）〕 亀岡消防署、東出張所の業務を開始 京都中部広域消防連絡協議会発足 昭和 57 年第 1 回組合議会臨時会を開催
	14 日	日本損害保険協会から寄贈を受け、亀岡消防署の救急車ⅡB型を更新
5 月		園部消防署、京北・美山・丹波出張所庁舎新築工事を着工
	31 日	昭和 57 年第 2 回組合議会臨時会を開催
8 月	16 日	職員 2 人を採用（職員数 108 人）
9 月	1 日	昭和 57 年第 3 回組合議会臨時会を開催
	30 日	園部消防署、京北・美山・丹波出張所庁舎が完成し竣工式を開催 指令車を購入し、園部消防署に配備 消防ポンプ自動車CD-I型 4 台を購入、園部消防署、京北・美山・丹波出張所に配備 救急自動車ⅡB型を園部ライオンズクラブから 2 台、京都府共済農業協同組合連合会及び日本消防協会から各 1 台の寄贈を受け、園部消防署、京北・美山・丹波出張所に配備 赤バイク 4 台を購入し、園部消防署、京北・美山・丹波出張所に配備 職員 1 人を採用（職員数 109 人）

## 消防広域業務開始

10 月	1 日	通信指令装置B型を消防本部に設置、運用を開始 園部消防署、京北・美山・丹波出張所の業務を開始 園部消防署一署長以下 16 人体制 京北出張所一職員 8 人体制 美山出張所一職員 8 人体制 丹波出張所一所长以下 9 人体制 消防用無線の前進基地局を設置（京北町大字下中、美山町大字静原、美山町大字田歌、丹波町大字富田）
	26 日	消防組合発足後初の組合議会 10 月定例会を開催
12 月	8 日	組合章を制定

昭和 58 年

- 2月 28日 昭和 58 年 2 月組合議会定例会を開催
- 4月 1日 京北・美山出張所に所長を配置—所長以下 9 人体制  
職員 8 人を採用（職員数 116 人）
- 8月 30日 京都府総合防災訓練に参加（亀岡市月読橋グラウンド）
- 9月 1日 職員 1 人を採用（職員数 116 人）
- 27日 八木出張所に配備する消防ポンプ自動車 C D-I 型（無線機付）を購入
- 10月 1日 園部消防署に職員を増員—署長以下 19 人体制
- 14日 昭和 58 年 10 月組合議会定例会を開催
- 11月 1日 若狭消防組合との間に消防の相互応援に関する協定を締結
- 26日 水槽付消防ポンプ自動車 I-B 型を購入、亀岡消防署に配備
- 12月 八木出張所庁舎新築工事を着工
- 1日 綾部市との間に消防の相互応援に関する協定を締結
- 24日 昭和 58 年第 1 回組合議会臨時会を開催

昭和 59 年

- 2月 27日 昭和 59 年 2 月組合議会定例会を開催
- 3月 19日 消防本部用地 1, 228. 47 m<sup>2</sup>を購入、訓練場が完成
- 27日 八木出張所庁舎新築工事が完成
- 31日 高槻市、茨木市、能勢町、豊能町との間に各々消防の相互応援に関する協定を締結  
職員 1 人を採用（職員数 117 人）
- 4月 1日 八木出張所の業務を開始—所長以下 9 人体制  
消防本部警防課通信係を 2 係制  
職員 5 人を採用（職員数 119 人）
- 8月 9日 危険物安全協会亀岡支部から査察車の寄贈を受け、亀岡消防署に配備
- 30日 国道 9 号線老ノ坂トンネル内車両火災総合訓練を実施
- 9月 1日 福知山市との間に消防の相互応援に関する協定及び同協定に基づく覚書を締結
- 10月 1日 多紀郡広域行政事務組合との間に消防の相互応援に関する協定及び同協定に基づく覚書を締結
- 26日 昭和 59 年 10 月組合議会定例会を開催
- 12月 26日 昭和 59 年第 1 回組合議会臨時会を開催

昭和 60 年

- 2月 26日 昭和 60 年 2 月組合議会定例会を開催
- 3月 22日 日本損害保険協会から寄贈を受け、亀岡消防署の救急自動車 II B 型を更新
- 4月 1日 職員 6 人を採用（職員数 125 人）  
東出張所に所長を配置—所長以下 9 人体制  
園部消防署に予防係長を配置
- 6月 8日 連絡車を配備
- 10月 26日 昭和 60 年 10 月組合議会定例会を開催
- 12月 26日 昭和 60 年第 1 回組合議会臨時会を開催

昭和 61 年

- 2月 28日 昭和 61 年 2 月組合議会定例会を開催
- 4月 1日 職員 8 人を採用（職員数 132 人）  
東・八木出張所に職員を増員—所長以下 10 人体制
- 5月 26日 昭和 61 年第 1 回組合議会臨時会を開催
- 7月 30日 査察車を配備
- 10月 1日 亀岡消防署に救急係を新設  
東・八木出張所に職員を増員—所長以下 11 人体制  
園部消防署に職員を増員—署長以下 24 人体制
- 20日 昭和 61 年 10 月組合議会定例会を開催
- 11月 25日 防災講演会「北極点と防火」を開催

	11月	30日	第1回ちびっこ消防のつどいを開催（亀岡市）
	12月	17日	東出張所の消防ポンプ自動車CD-I型を更新
		25日	昭和61年第2回組合議会臨時会を開催
昭和62年			
	2月	28日	昭和62年2月組合議会定例会を開催
	6月	5日	防災講演会「防災と安全の危機管理」を開催
		23日	第1回消防救助技術訓練大会を開催
		29日	無人走行放水車を試作、発表
	7月		本部基地局無線機を更新（第1装置） 消防用無線の前進基地局を増設（和知町大字升谷）
	8月	31日	京都市との間に消防の相互応援に関する協定を締結
	9月	9日	大型バスの事故による多数の負傷者の発生を想定した、集団救急事故訓練を実施
		11日	消防本部の指令車を更新
	10月	18日	第2回ちびっこ消防のつどいを開催（園部町）
		20日	昭和62年10月組合議会定例会を開催
	11月	24日	水槽付消防ポンプ自動車I-A型を購入、園部消防署に配備
	12月	25日	昭和62年第1回組合議会臨時会を開催
昭和63年			
	2月	1日	東出張所の救急業務を開始
		17日	京都縦貫自動車道老ノ坂亀岡道路の開通に伴い、京都市との間に篠・沓掛インターチェンジ間における消防の相互応援に関する覚書を締結 園部消防署に救助資機材を配備
		27日	昭和63年2月組合議会定例会を開催
	5月	27日	社会福祉施設を対象に防火管理者等研修会を開催
	8月	9日	旅館・ホテル等防火管理等研修会を開催
		23日	上級防火管理等研修会を開催
	10月		第43回国民体育大会秋季大会の警備を実施
		26日	昭和63年10月組合議会定例会を開催
	12月	20日	亀岡消防署に救助工作車II型を配備
		26日	昭和63年第1回組合議会臨時会を開催
平成元年			
	2月	28日	平成元年2月組合議会定例会を開催 第2次整備計画（平成元年度から平成5年度）を策定
	3月	1日	救急基金から寄贈を受け、東出張所の救急自動車II B型を更新 母と子の防火のつどい開催（亀岡市）
		29日	丹波出張所の救急自動車II B型を更新
	4月	1日	職員の条例定数を168人に改める 職員11人を採用（職員数143人）
	5月		B型肝炎ワクチンを職員に接種 第2回消防救助技術訓練大会を開催
	6月	1日	防災講演会「異常気象と防災」を開催
	8月	30日	京北・美山・丹波出張所に連絡車を配備 京北・美山出張所の救急自動車の無線機を更新
	10月	30日	平成元年10月組合議会定例会を開催
	11月	1日	園部消防署に職員を増員一署長以下26人体制 京北・美山出張所に職員を増員一所长以下11人体制
		7日	母と子の防火のつどいを開催（丹波町）
	12月	1日	大規模災害及び特殊災害が発生した場合における京都府内市町村及び消防一部事務組合が行う消防の相互応援に関する協定を締結
		25日	平成元年第1回組合議会臨時会を開催
平成2年			
	2月	28日	平成2年2月組合議会定例会を開催

3月	20日	園部消防署の指令車を更新
4月	1日	消防本部の3課25人体制を2課19人体制に改める 亀岡消防署に課制を導入し職員を増員一署長以下42人体制
6月	20日	第3回消防救助技術訓練大会を開催
9月	3日	防災講演会「地域の安全を考える」を開催
10月	12日	平成2年度京都府高圧ガス防災訓練に参加
	26日	平成2年10月組合議会定例会を開催
11月	10日	日本消防協会から寄贈を受け、亀岡消防署の救急自動車ⅡB型を更新
	19日	東・八木出張所に連絡車を配備
	20日	母と子の防火のつどいを開催（亀岡市）
12月	6日	亀岡消防署の指令車を更新
	25日	平成2年第1回組合議会臨時会を開催
平成3年		
	2月	28日 平成3年2月組合議会定例会を開催
	3月	31日 亀岡消防署の消防ポンプ自動車CD-I型、京北出張所の救急自動車ⅡB型を更新
	4月	8日 京都府から起震車の寄贈を受け、消防本部に配備
	6月	6日 第4回消防救助技術訓練大会を開催
	8月	8日 日本消防協会から指令広報車の寄贈を受け、園部消防署に配備
	10月	24日 平成3年10月組合議会定例会を開催
	11月	本部基地局無線機を更新（第2装置）
		8日 母と子の防火のつどいを開催（日吉町）
	12月	26日 平成3年第1回組合議会臨時会を開催
平成4年		
	1月	消防専用無線に救急波を導入（第3装置）、車載無線機1台新規配備
	2月	28日 平成4年2月組合議会定例会を開催
	3月	7日 救急用の有・無線システム運用開始
		11日 園部消防署及び八木出張所の救急自動車ⅡB型を更新
		可搬型携帯用無線機2台を新規配備
		19日 広報紙「京都中部消防」を創刊

## 消防組合設立10周年

4月	1日	職員6人を採用（職員数146人）
6月	6日	平成4年第1回組合議会臨時会を開催
	8日	第5回消防救助技術訓練大会を開催
	11日	防災研究会「最近の危険物災害から学ぶもの」を開催
8月	9日	組合設立10周年、京都中部広域消防連絡協議会結成10周年を記念して組合を構成する1市8町消防団により京都中部地区消防操法大会を開催
9月		消防本部庁舎増築工事を着工
10月	1日	組合設立10周年記念式典を挙行 「組合設立10年のあゆみ」を刊行
	22日	平成4年10月組合議会定例会を開催
	29日	母と子の防火のつどいを開催（亀岡市）
11月	30日	広報紙「京都中部消防」第2号刊行
12月	24日	平成4年第2回組合議会臨時会を開催
平成5年		
	1月	7日 組合設立10周年を記念して消防署旗・出張所旗を制定
	2月	26日 平成5年2月組合議会定例会を開催
	3月	16日 消防本部庁舎増築工事が完成
		22日 広報紙「京都中部消防」第3号刊行
		26日 車載無線機2台を更新

3月	30日	美山出張所の救急自動車ⅡB型を更新
4月	1日	職員24人を採用（職員数167人） 消防本部・亀岡消防署の電話番号を従来の代表番号制を廃止し、ダイヤルイン方式（各課・係への直通回線）を導入
6月	11日	第6回消防救助技術訓練大会を開催
7月	22日	第22回消防救助技術東近畿地区指導会ほふく救出の部で優勝
8月		消防緊急通信指令システム設置工事着工
	13日	京都中部地域救急医療懇談会を開催
	18日	平成5年第1回組合議会臨時会を開催
	20日	第22回全国消防救助技術大会ほふく救出の部で入賞
10月	8日	全国消防長会東近畿支部役員会・京都府消防長会総会を亀岡市で開催
	26日	防災講演会「高度情報化社会に向けての火災予防について」を開催
	29日	平成5年10月組合議会定例会を開催
11月	9日	JR園部駅構内にて関係機関と合同の集団救急救助事故訓練実施
	11日	幼年消防北桑田・船井地区大会を開催（瑞穂町）
12月	1日	広報紙「京都中部消防」第4号刊行
	24日	平成5年第2回組合議会臨時会を開催 救急用消毒資器材（滅菌器）を亀岡消防署に配備
平成6年		
1月		車載無線機5台を更新配備
2月	28日	平成6年2月組合議会定例会を開催
3月	1日	丹波出張所の消防ポンプ自動車CD-I型を更新
	19日	救急処置拡大9項目に伴う救急資機材を亀岡・園部両署に配備（聴診器、患者監視装置、エア－ウェイ、喉頭鏡、マギール鉗子、心マッサージ器、在宅療法継続用資機材）
	30日	消防緊急通信指令システムⅡ型設置工事完了、竣工式を挙行 広報紙「京都中部消防」第5号刊行 高度救急資機材を亀岡・園部両署に配備
4月	1日	消防緊急通信指令システム運用開始 職員4人を採用（職員数168人）
5月	12日	亀岡市危険物安全協会から寄贈を受け、亀岡消防署の査察車を更新
	31日	亀岡消防署東消防庁舎用地を取得、新築工事着工
6月		救急用消毒資器材（滅菌器）を園部消防署に配備
	6日	第7回消防救助技術訓練大会を開催
	8日	平成6年第1回組合議会臨時会を開催
7月		水難用救助用具を園部消防署に配備
9月	21日	消防本部に資機材搬送車を配備
10月	1日	「市民・町民救急員」制度開始
	21日	平成6年10月組合議会定例会を開催
11月	4日	母と子の防火のつどいを開催（亀岡市）
12月	21日	亀岡消防署東分署庁舎竣工式を挙行 亀岡消防署東出張所を分署に昇格し、職員を増員一職員21人体制
	22日	園部消防署の消防ポンプ自動車CD-I型を更新
	26日	平成6年第2回組合議会臨時会を開催
平成7年		
1月	17日	阪神淡路大震災発生、18日から25日の間、当組合から救助隊、救急隊延べ99名を神戸市東灘区に派遣し救急救助活動を実施 車載無線機2台を更新配備 園部消防署の消防ポンプ自動車CD-I型を更新
2月	28日	平成7年2月組合議会定例会を開催
3月	6日	園部消防署にて防災安全講習会を開催
	27日	広報紙「京都中部しょうぼう」第6号刊行

5月	1日	消防本部に中長期消防計画策定のためのプロジェクトチームを設置
	31日	第8回消防救助技術訓練大会実施
8月	2日	亀岡・園部消防署合同規律訓練実施
	29日	防災講演会「地震に対する市民の備え、市民の役割」を開催
9月	1日	救急処置拡大9項目に伴う救急資機材を全救急自動車に配備 地震を想定した消防職員非常招集訓練を実施 平成7年度京都府総合防災訓練（綾部市）に消防隊1隊が参加 緊急消防援助隊に救助隊を登録
	5日	京都縦貫自動車道にて、関係機関合同による集団救急訓練を開催
10月	23日	平成7年10月組合議会定例会を開催
11月	14日	幼年消防北桑田・船井地区大会を開催（和知町）
	25日	平成7年度近畿府県合同防災訓練（滋賀県彦根市）に緊急消防援助隊1隊が参加
12月	4日	亀岡消防署に高規格救急自動車を配備
	22日	京北出張所の消防ポンプ自動車CD-I型を更新
	26日	平成7年第1回組合議会臨時会を開催
	27日	亀岡消防署に防護服（耐ガス密封式）を配備
平成8年		
1月	4日	亀岡消防署高度救急業務を開始
	8日	8日から21日の間、管内の市役所、町役場等で防災写真展を開催
	17日	「阪神・淡路大震災から1年」職員招集訓練を実施
2月	29日	平成8年2月組合議会定例会を開催
3月	1日	京都中部広域消防組合消防計画（新しい時代への展望）を策定
	25日	広報紙「京都中部しょうぼう」第7号刊行
4月	23日	京都縦貫自動車道（京都丹波道路）で開通を前に大規模災害合同訓練を実施
5月	29日	第9回消防救助技術訓練大会を開催
6月	6日	給油取扱所防災リーダー研修会を開催
7月	22日	平成8年第1回組合議会臨時会を開催
	29日	亀岡消防署の査察車を配備 日本防火協会から寄贈を受け、園部消防署に防火号を新配備
8月	30日	防災講演会「阪神淡路大震災を省みて、今人々に伝えることは」を開催
9月	3日	平成8年度京都府総合防災訓練に参加（園部町多目的グラウンド）
10月	7日	日本損害保険協会から化学消防ポンプ自動車II型の寄贈を受け、東分署に配備
	23日	平成8年10月組合議会定例会を開催
11月	8日	母と子の防火のつどい開催（亀岡市）
12月	2日	職員5人を採用（職員数169人）〔条例定数174人〕
	10日	亀岡消防署にはしご付消防ポンプ自動車（30m級）を配備 亀岡消防署に救助隊を創設
	26日	平成8年第2回組合議会臨時会を開催
平成9年		
1月	1日	亀岡消防署はしご付消防ポンプ自動車の運用を開始
	28日	美山出張所の消防ポンプ自動車CD-I型を更新
2月	28日	平成9年2月組合議会定例会を開催
3月	10日	広報紙「京都中部しょうぼう」第8号刊行
	28日	丹波出張所の救急自動車II B型を更新
4月	1日	職員5人を採用（職員数174人）
5月	9日	平成9年第1回組合議会臨時会を開催
	28日	第10回消防救助技術訓練大会を開催（28・29日）
7月	31日	山岳救助用資器材を園部消防署に配備
8月	1日	全国高校総合体育大会の警備を実施（～15日）
	6日	丹波出張所の連絡車を更新
	23日	防災講演会「勇気のなかに」を開催
9月	19日	消防本部屋外訓練場舗装工事完了

	9月	30日	簡易画像探索機を亀岡消防署に配備
	10月	1日	救助隊が初の野営訓練を実施（～2日朝）
		27日	平成9年10月組合議会定例会を開催
	11月	5日	消防組合設立15周年・消防本部発足40周年記念「管理者総合査閲」を実施
		6日	幼年消防北桑田・船井地区大会を開催（園部町）
		17日	園部消防署に高規格救急自動車を配備
		20日	近畿府県合同防災訓練に参加（宮津市、精華町）
	12月	1日	園部消防署高度救急業務を開始
		15日	八木出張所の消防ポンプ自動車CD-I型を更新
		25日	平成9年第2回組合議会臨時会を開催
平成10年			
	2月	1日	自治体消防50周年京都府大会に参加
		26日	平成10年2月組合議会定例会を開催
	3月	25日	広報紙「京都中部しょうぼう」第9号刊行
	4月	1日	自動車・携帯電話からの119番受信接続開始
	5月	27日	第11回消防救助技術訓練大会を開催
	6月	22日	美山出張所の連絡車を更新
	8月	6日	第27回消防救助技術東近畿地区指導会、はしご登はんの部・ほふく救出の部で優勝
		28日	第27回全国消防救助技術大会はしご登はんの部・ほふく救出の部で入賞
	10月	21日	平成10年10月組合議会定例会を開催
		30日	30日、31日に緊急消防援助隊近畿、中部ブロック合同訓練（福井県 テクノポート福井）に参加
	11月	6日	母と子の防火のつどいを開催（亀岡市）
		13日	東分署に高規格救急自動車を配備
	12月	1日	東分署高度救急業務を開始
		25日	平成10年第1回組合議会臨時会を開催
		27日	東分署の消防ポンプ自動車CD-I型を更新
平成11年			
	1月	14日	地震を想定した職員非常招集訓練を実施
	2月	26日	平成11年2月組合議会定例会を開催
		28日	園部消防署・京北・八木・日吉町消防団合同林野火災防ぎょ訓練実施
	3月	1日	防災講演会「地域における地震防災対策」を開催
		31日	広報紙「京都中部しょうぼう」を「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル119」に改名第10号を刊行
	4月	1日	職員5人を採用（職員数174人）
	6月	2日	第12回消防救助技術訓練大会を開催
	7月	20日	船井郡園部町内で、京都中部広域消防組合管内の全消防団合同による水防訓練を開催
	8月	5日	平成11年第1回組合議会臨時会を開催
		23日	京北出張所の連絡車を更新
	10月	18日	平成11年10月組合議会定例会を開催
		28日	高度救助用資機材を亀岡消防署に配備
	11月	1日	広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル119」第11号刊行
		9日	幼年消防北桑田・船井地区大会を開催（美山町）
		11日	緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練（大阪府堺市）に参加
		29日	亀岡消防署の水槽付消防ポンプ自動車I-B型を更新
	12月	24日	平成11年第2回組合議会臨時会を開催
平成12年			
	2月	28日	平成12年2月組合議会定例会を開催
	3月	7日	防災講演会「地域における地震防災対策」を開催
		9日	園部消防署の指令車を更新

4月	1日	救急要請受信時における応急手当口頭指導要綱を制定し、受信時の口頭指導を開始
5月	15日	広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル119」第12号を刊行
6月	8日	第13回消防救助技術訓練大会を開催
10月	30日	平成12年10月組合議会定例会を開催
11月	1日	広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル119」第13号を刊行
	7日	母と子の防火のつどいを開催（亀岡市）
	8日	丹波出張所に高規格救急自動車を配備
12月	1日	丹波出張所高度救急業務を開始
	5日	亀岡消防署にて警防技術向上訓練を実施
	26日	平成12年第1回組合議会臨時会を開催
平成13年		
2月	20日	消防本部の指令車を更新
	28日	平成13年2月組合議会定例会を開催
3月	7日	防災講演会「京都中部地域の地震発生の特徴と震災予防」を開催
	13日	園部消防署にて警防技術向上訓練を実施
4月	1日	職員3人を採用（職員数174人）
5月	1日	広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル119」第14号を刊行
	30日	第14回消防救助技術訓練大会を開催
8月	6日	園部消防署の指令広報車を更新
	24日	亀岡消防署に警防査察車を配備
	28日	亀岡消防署に高圧噴霧放水銃を配備
	29日	亀岡消防署に防火広報車を配備
9月	1日	聴覚障害者緊急通報FAX運用要綱を制定し運用を開始
10月	3日	東分署の連絡車を更新
	29日	平成13年10月組合議会定例会を開催
11月	1日	広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル119」第15号を刊行
	6日	幼年消防北桑田・船井地区大会を開催（園部町）
	26日	丹波広域基幹林道旧深見峠付近にて、園部消防署と関係機関合同で山岳救助訓練を実施
12月	4日	4日・5日の両日に、消防本部主催の消防活動技術向上訓練を実施
	26日	平成13年第1回組合議会臨時会を開催
平成14年		
2月	28日	昨年の保津川遊船の座礁事故を教訓に、亀岡消防署と関係機関合同で保津川遊船転覆事故救助訓練を実施
	28日	平成14年2月組合議会定例会を開催
3月	7日	防災講演会「災い転じて福としよう」を開催
	25日	亀岡消防署の高規格救急自動車を更新
4月	1日	職員6人を採用（職員数174人）
5月	1日	広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル119」第16号を刊行
	27日	第15回消防救助技術訓練大会を開催
7月	26日	平成14年第1回組合議会臨時会を開催
9月	7日	京都府総合防災訓練に参加（亀岡市）

## 消防組合設立20周年

10月 1日 消防組合設立20周年記念式典を挙行



10月	1日	「組合設立 20 年のあゆみ」を刊行	
	22日	平成 14 年 10 月組合議会定例会を開催	
11月	6日	八木出張所の連絡車を更新	
	7日	幼年消防亀岡地区防火のつどい（亀岡市）	
	20日	緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練に京都府隊として参加（徳島県小松島市・阿南市）	
	26日	防災講演会「巨大地震と京都中部地域の防災」を開催	
	28日	亀岡消防署の指令車を更新	
12月	1日	八木出張所に高規格救急自動車を配備し、高度救急業務を開始	
		広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル 119」第 17 号を刊行	
	25日	平成 14 年第 2 回組合議会臨時会を開催	
平成 15 年			
1月	1日	園部消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新し、運用開始	
2月	21日	平成 15 年 2 月組合議会定例会を開催	
4月	17日	京都中部メディカルコントロール協議会発足	
5月	1日	広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル 119」第 18 号を刊行	
	10日	SARS 患者搬送、SARS 問題の対応を実施	
	26日	第 16 回消防救助技術訓練大会を開催	
7月	11日	平成 15 年第 1 回組合議会臨時会を開催	
	29日	防災講演会「“イザ”という時の心構え」を開催	
10月	27日	平成 15 年 10 月組合議会定例会を開催	
	30日	幼年消防北桑田・船井地区大会を開催（園部町）	
11月	1日	広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル 119」第 19 号を刊行	
	27日	平成 15 年第 2 回組合議会臨時会を開催	
12月	15日	亀岡消防署の救助工作車（Ⅲ型）を更新	
平成 16 年			
2月	1日	予防・警防システムを導入	
	26日	平成 16 年 2 月組合議会定例会を開催	
	27日	丹波町で鳥インフルエンザが発生し、対応を実施	
3月	16日	消防本部庁舎耐震診断・耐震補強設計を実施	
	26日	亀岡消防署の消防ポンプ自動車 CD-I 型を更新	
	29日	防火衣を更新（東分署・丹波出張所）	
4月	1日	職員 6 人を採用（職員数 177 人）〔条例定数 183 人〕	
5月	1日	広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル 119」第 20 号を刊行	
	24日	第 17 回消防救助技術訓練大会を開催	
6月	21日	京都中部メディカルコントロール協議会を南丹メディカルコントロール協議会に名称改正	
	23日	防火衣を更新（亀岡消防署本署・園部消防署本署・八木・京北・美山出張所）	
7月	18日	「福井豪雨」に京都府緊急消防援助隊として出動	
	22日	園部消防署に警防査察車を配備	
10月	20日	管内全域で台風 23 号による災害活動を実施	

- 10月 22日 平成16年10月組合議会定例会を開催
- 10月 26日 幼年消防亀岡地区防火のつどいを開催（亀岡市）
- 11月 1日 広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル119」第21号を刊行
- 平成17年 1月 7日 美山出張所に高規格救急自動車を配備し、高度救急業務を開始



- 2月 25日 消防庁舎耐震工事を実施
- 平成17年2月組合議会定例会を開催
- 3月 7日 防災講演会「水害に強いまちづくりを目指して!」を開催
- 3月 31日 京北町が消防組合を脱退
- 4月 1日 日吉仮出張所を開設
- 職員6人を採用（職員数179人）
- 緊急消防援助隊に消火隊を登録
- 5月 1日 広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル119」第22号を刊行
- 5月 30日 第18回消防救助技術訓練大会を開催
- 7月 12日 平成17年第1回組合議会臨時会を開催
- 消防本部にAED（自動体外式除細動器）及びAEDトレーナー（訓練用）を配備
- 8月 25日 消防本部に消火・通報訓練指導車を配備（日本宝くじ協会寄贈）
- 9月 30日 消防本部屋外訓練場舗装工事完了
- 10月 5日 平成17年10月組合議会定例会を開催
- 11月 11日 京丹波町（丹波町、瑞穂町及び和知町が合併）が誕生
- 京都中部広域消防組合・綾部市消防相互応援協定を締結
- 11月 1日 広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル119」第23号を刊行
- 11月 8日 幼年消防北桑田・船井地区大会を開催（和知町）
- 11月 21日 防災講演会「7.18 福井豪雨の検証」を開催
- 11月 28日 平成17年第2回組合議会臨時会を開催
- 12月 16日 園部消防署にはしご付消防ポンプ自動車（15m級）を配備



- 平成18年 1月 1日 南丹市（美山町、園部町、八木町及び日吉町が合併）が誕生
- 京都市・京都中部広域消防組合・南丹市消防相互応援協定を締結
- 亀岡消防署八木出張所を市町村合併に伴い、園部消防署に所属変更
- 組合議員定数を16人に改正
- 21日 園部消防署日吉出張所新庁舎建設工事着工
- 3月 29日 平成18年3月組合議会定例会を開催
- 消防無線基地を整備
- 船岡前進基地局を新設

- 3月 29日 本部基地局・美山前進基地局・田歌前進基地局の無線機器を更新  
丹波前進基地局・和知前進基地局を廃止
- 4月 1日 職員6人を採用（職員数176人）  
緊急消防援助隊に特殊装備隊を登録
- 5月 1日 広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル119」第24号を刊行
- 31日 第19回消防救助技術訓練大会を開催
- 7月 12日 平成18年第1回組合議会臨時会を開催
- 31日 園部消防署日吉出張所竣工



- 8月 1日 園部消防署日吉出張所開所
- 10月 27日 平成18年10月組合議会定例会を開催
- 11月 1日 防災講演会「自助・共助・公助について」を開催  
広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル119」第25号を刊行
- 7日 幼年消防亀岡地区防火のつどいを開催
- 12月 18日 丹波出張所の消防ポンプ自動車CD-I型を更新



平成19年

- 1月 29日 亀岡消防署、園部消防署にAED（自動体外式除細動器）及びAEDトレーナー（訓練用）を配備
- 2月 27日 平成19年2月組合議会定例会を開催  
組合議員定数を10人に改正
- 3月 30日 日吉出張所に高規格救急自動車を配備し、高度救急業務を開始
- 4月 1日 会計管理者を設置  
消防組合に会計課を設置  
職員5人を採用（職員数178人）
- 5月 1日 広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル119」第26号を刊行
- 17日 自動体外式除細動器（AED）を整備（救助用車両に積載）
- 31日 第20回消防救助技術訓練大会を開催
- 7月 9日 平成19年第1回組合議会臨時会を開催
- 8月 6日 山岳救助隊を発足



- 22日 第36回全国消防救助技術大会はしご登はんの部で入賞
- 10月 9日 平成19年10月組合議会定例会を開催
- 11月 1日 広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル119」第27号を刊行
- 21日 亀岡消防署の高規格救急自動車を更新



- 12月 18日 園部消防署の消防ポンプ自動車CD-I型を更新
- 20日 ホームページを開設し、運用開始
- 25日 平成19年第2回組合議会臨時会を開催



平成20年

- 1月 1日 消防緊急通信指令システムを部分改修し、運用開始
- 2月 1日 消防庁舎LANを整備し、運用開始
- 13日 日本損害保険協会から寄贈を受け、園部消防署の高規格救急自動車を更新
- 25日 平成20年2月組合議会定例会を開催



- 3月 11日 消防本部・亀岡消防署の訓練場用地を取得 (999.14 m<sup>2</sup>)
- 4月 1日 職員8人を採用 (職員数180人)
- 5月 1日 広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル119」第28号を刊行
- 27日 第21回消防救助技術訓練大会を開催
- 7月 18日 平成20年第1回組合議会臨時会を開催
- 8月 30日 緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練に参加 (大阪府岸和田市)
- 9月 13日 京都縦貫自動車道綾部宮津道路及び丹波綾部道路の開通に伴い、綾部市、舞鶴市、宮津与謝消防組合との間に京丹波わちインターチェンジから宮津天橋立インターチェンジ間における消防相互応援に関する協定を締結
- 10月 1日 消防組合例規集をデータ化し、システムの運用開始
- 28日 防災講演会「今、心配される地震」を開催
- 29日 平成20年10月組合議会定例会を開催
- 11月 1日 広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル119」第29号を刊行
- 10日 幼年消防亀岡地区防火のつどいを開催 (亀岡市)
- 13日 山岳救助隊旗を園部消防署へ配置
- 30日 消防本部庁舎の外壁補修及び防水工事を実施
- 12月 10日 日吉出張所の消防ポンプ自動車CD-I型を更新

平成21年

- 2月 26日 平成21年2月組合議会定例会を開催
- 3月 22日 消防本部・亀岡消防署の訓練場等 (999.14 m<sup>2</sup>) の竣工祭を実施



- 4月 1日 職員2人を採用 (職員数180人)
- 4月 22日 南丹警察署と合同山岳救助訓練を実施



- 5月 1日 広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル119」第30号を刊行
- 25日 平成21年第1回組合議会臨時会を開催
- 29日 第22回消防救助技術訓練大会を開催
- 7月 10日 亀岡消防署に女性専用室を設置
- 30日 丹波出張所の連絡車を更新
- 8月 7日 水難救助用ゴムボートを園部消防署に配備
- 9月 5日 京都府防災訓練に参加（京丹波町）



- 10月 22日 幼年消防南丹船井地区大会を開催（京丹波町）
- 29日 平成21年10月組合議会定例会を開催
- 11月 1日 広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル119」第31号を刊行
- 26日 平成21年第2回組合議会臨時会を開催（26日～30日）
- 12月 1日 東分署及び丹波出張所の高規格救急自動車を更新



- 4日 丹波出張所の消防ポンプ自動車CD-I型（水槽付）を更新
- 10日 亀岡消防署に配備の高度救助用資機材を更新



平成22年

- 2月 26日 平成22年2月組合議会定例会を開催
- 4月 1日 職員4人を採用（職員数183人）
- 緊急消防援助隊に救急隊を登録
- 17日 京都府、兵庫県及び鳥取県の共同によるドクターヘリ運航開始



- 5月 1日 広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル119」第32号を刊行
- 28日 第23回消防救助技術訓練大会を開催
- 6月 23日 平成22年第1回組合議会臨時会を開催
- 29日 東分署車庫にシャッターを設置
- 9月 16日 園部消防署に女性職員専用室を設置
- 10月 1日 消防緊急通信指令システムに統合型位置情報通知装置の運用開始
- 12日 京都府・京都市国民保護共同訓練に参加

- 10月 29日 平成 22 年 10 月 組合議会定例会を開催
- 11月 1日 広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル 119」第 33 号を刊行
- 5日 防災講演会「洪水による被害と日頃の備え」を開催
- 9日 幼年消防亀岡地区防火のつどいを開催
- 25日 美山出張所の消防ポンプ自動車 C D- I 型（水槽付）を更新
- 29日 平成 22 年第 2 回 組合議会臨時会を開催
- 12月 2日 園部消防署敷地舗装工事完了



平成 23 年

- 2月 25日 平成 23 年 2 月 組合議会定例会を開催
- 3月 11日 東日本大震災の救援活動に緊急消防援助隊京都府隊として救助隊を派遣（～4月 2 日）
- 15日 消防救急無線デジタル化に伴う電波伝搬調査及び基本設計を完了
- 4月 1日 消防本部に指令課を新設  
亀岡消防署東分署に救急係を新設
- 5月 1日 広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル 119」第 34 号を刊行
- 7月 8日 平成 23 年第 1 回 組合議会臨時会を開催  
エアータントを園部消防署に配備
- 8月 12日 日吉出張所の連絡車を更新
- 9月 9日 高圧ガス製造設備を更新
- 10月 2日 南丹市総合防災訓練に参加
- 31日 平成 23 年 10 月 組合議会定例会を開催
- 11月 1日 亀岡消防署東分署の化学消防ポンプ自動車（II 型）を更新  
広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル 119」第 35 号を刊行
- 25日 園部消防署庁舎車庫にシャッターを設置
- 28日 平成 23 年第 2 回 組合議会臨時会を開催
- 12月 7日 亀岡消防署東分署の消防ポンプ自動車 C D- I 型を更新



平成 24 年

- 2月 29日 平成 24 年 2 月 組合議会定例会を開催  
定数条例の一部改正  
消防緊急通信指令システム更新に係る実施設計完了
- 4月 1日 職員 7 人を採用（職員数 186 人）
- 5月 1日 広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル 119」36 号を刊行
- 23日 第 24 回 消防救助技術訓練大会を開催
- 28日 平成 24 年第 1 回 組合議会臨時会を開催
- 6月 1日 職員 1 人を採用（職員数 186 人）
- 8日 全国瞬時警報システムを整備
- 8月 9日 エアータントを亀岡消防署に配備
- 10日 大阪府ドクターヘリ運航要請開始
- 9月 19日 資機材搬送車を更新し、運用開始



## 過去 30 年間における主な災害状況



昭和 57 年 8 月 台風 10 号により氾濫した保津川



昭和 63 年 4 月 亀岡市三郎ヶ岳で発生した山林火災

昭和 57 年	8 月	管内各地で台風 10 号による被害	
昭和 59 年	4 月	亀岡市西別院町内で林野火災	( 3ha 焼失)
昭和 60 年	1 月	八木町地内で建物火災	( 5 棟 365 m <sup>2</sup> 焼損)
昭和 60 年	3 月	亀岡市馬路町内で建物火災	( 3 棟 583 m <sup>2</sup> 焼損)
昭和 61 年	12 月	丹波町内で建物火災	( 1 棟 312 m <sup>2</sup> 焼損)
昭和 63 年	3 月	亀岡市余部町内で建物火災	( 1 棟 389 m <sup>2</sup> 焼損)
昭和 63 年	12 月	園部町内で建物火災	( 5 棟 488 m <sup>2</sup> 焼損)
平成元年	4 月	亀岡市本梅町内で建物火災	( 2 棟 371 m <sup>2</sup> 焼損)
平成 5 年	2 月	亀岡市宮前町内で建物火災	( 4 棟 316 m <sup>2</sup> 焼損)
平成 5 年	12 月	亀岡市余部町内で建物火災	(14 棟 1,020 m <sup>2</sup> 焼損)
平成 6 年	1 月	亀岡市篠町内で建物火災	( 4 棟 326 m <sup>2</sup> 焼損)
平成 6 年	3 月	亀岡市曾我部町内で林野火災	( 23ha 焼損)
平成 7 年	1 月	亀岡市河原林町内で建物火災	( 2 棟 293 m <sup>2</sup> 焼損)
平成 7 年	1 月	阪神淡路大震災により管内各地で被害	
平成 7 年	5 月	亀岡市余部町内で建物火災	( 2 棟 433 m <sup>2</sup> 焼損)



平成 2 年 7 月  
亀岡市で発生した神社火災  
元禄 7 年建立の本殿を全焼



平成 7 年 1 月 阪神淡路大震災により当管内でも本梅町内の民家が倒壊



平成 9 年 6 月 和知町内の山陰本線で軌道敷が崩壊し列車脱線事故が発生

平成 8 年	3 月	美山町内で建物火災	( 2 棟	400 m <sup>2</sup> 焼損)
平成 8 年	7 月	丹波町内で建物火災	( 1 棟	788 m <sup>2</sup> 焼損)
平成 8 年	11 月	瑞穂町内で建物火災	( 3 棟	1,034 m <sup>2</sup> 焼損)
平成 9 年	5 月	京北町内で建物火災	( 5 棟	274 m <sup>2</sup> 焼損)
平成 9 年	6 月	美山町内で建物火災	( 1 棟	449 m <sup>2</sup> 焼損)
平成 9 年	8 月	亀岡市北古世町内で建物火災	( 9 棟	823 m <sup>2</sup> 焼損)
平成 9 年	11 月	美山町内で建物火災	( 1 棟	206 m <sup>2</sup> 焼損)
平成 10 年	3 月	丹波町内で建物火災	( 2 棟	250 m <sup>2</sup> 焼損)
平成 10 年	4 月	亀岡市篠町内で建物火災	( 3 棟	251 m <sup>2</sup> 焼損)
平成 12 年	8 月	八木町内で建物火災	( 1 棟	860 m <sup>2</sup> 焼損)
平成 13 年	4 月	京北町内で林野火災	(	4.5ha 焼損)
平成 13 年	7 月	亀岡市馬路町内で建物火災	( 1 棟	257 m <sup>2</sup> 焼損)
平成 13 年	12 月	日吉町内で建物火災	( 1 棟	426 m <sup>2</sup> 焼損)
平成 14 年	3 月	亀岡市東別院町内で林野火災	(	4ha 焼損)
平成 14 年	5 月	亀岡市東別院町内で建物火災	( 6 棟	410 m <sup>2</sup> 焼損
				0.1ha 焼損)

平成 12 年 5 月  
美山町北(重要伝統的建造物群保存地区)のかやぶきの里民族資料館を焼失





### 平成 16 年 10 月台風 23 号による被害

平成 14 年	6 月	亀岡市大井町内でその他火災	(プラスチックパレット 400 枚 焼損)
平成 15 年	1 月	園部町内で建物火災	(2 棟 330 m <sup>2</sup> 焼損)
平成 15 年	2 月	亀岡市蔭田野町内で建物火災	(1 棟 296 m <sup>2</sup> 焼損)
平成 15 年	4 月	八木町内で建物火災	(2 棟 1,153 m <sup>2</sup> 焼損)
平成 15 年	9 月	京北町内で林野火災	( 2.6 ha 焼損)
平成 16 年	2 月	亀岡市曾我部町内で建物火災	( 7 棟 230 m <sup>2</sup> 焼損)
平成 16 年	10 月	瑞穂町内で建物火災	( 4 棟 282 m <sup>2</sup> 焼損)
平成 16 年	10 月	管内各地で台風 23 号による被害	
平成 17 年	4 月	美山町内で建物火災	( 4 棟 243 m <sup>2</sup> 焼損 2.3ha 焼損)
平成 17 年	8 月	八木町内で建物火災	( 1 棟 312 m <sup>2</sup> 焼損)
平成 17 年	10 月	美山町内で建物火災	( 4 棟 396 m <sup>2</sup> 焼損)
平成 17 年	12 月	亀岡市曾我部町内で建物火災	( 6 棟 327 m <sup>2</sup> 焼損)
平成 17 年	12 月	八木町内で建物火災	( 1 棟 2,628 m <sup>2</sup> 焼損)
平成 18 年	1 月	京丹波町内で建物火災	( 4 棟 375 m <sup>2</sup> 焼損)
平成 18 年	2 月	京丹波町内で建物火災	( 1 棟 462 m <sup>2</sup> 焼損)



平成 16 年 10 月 台風 23 号による被害



平成 23 年 3 月  
宮城県本吉郡南三陸町  
緊急消防援助隊京都府隊として、救助隊を派遣

平成 19 年	1 月	南丹市美山町内で建物火災	( 2 棟	257 m <sup>2</sup> 焼損)
平成 19 年	11 月	亀岡市畑野町内で建物火災	( 4 棟	209 m <sup>2</sup> 焼損)
平成 19 年	12 月	亀岡市千代川町内で建物火災	( 5 棟	448 m <sup>2</sup> 焼損)
平成 21 年	2 月	京丹波町内で建物火災	( 6 棟	650 m <sup>2</sup> 焼損)
平成 21 年	7 月	京丹波町内で建物火災	( 2 棟	344 m <sup>2</sup> 焼損)
平成 22 年	8 月	京丹波町内で建物火災	( 1 棟	521 m <sup>2</sup> 焼損)
平成 22 年	8 月	亀岡市中矢田町内で建物火災	( 1 棟	271 m <sup>2</sup> 焼損)
平成 22 年	9 月	亀岡市馬路町内で建物火災	( 1 棟	366 m <sup>2</sup> 焼損)
平成 22 年	10 月	亀岡市河原町内で建物火災	( 3 棟	343 m <sup>2</sup> 焼損)
平成 23 年	1 月	南丹市日吉町内で建物火災	( 2 棟	276 m <sup>2</sup> 焼損)
平成 23 年	2 月	京丹波町内で建物火災	( 3 棟	255 m <sup>2</sup> 焼損)
平成 23 年	5 月	京丹波町内で建物火災	( 1 棟	662 m <sup>2</sup> 焼損)
平成 23 年	8 月	南丹市八木町内で建物火災	( 1 棟	1, 357 m <sup>2</sup> 焼損)
平成 24 年	1 月	亀岡市追分町内で建物火災	( 1 棟	325 m <sup>2</sup> 焼損)



平成 23 年 6 月  
亀岡市馬路町三郎ヶ岳山腹  
滑落事故で京都市消防局航空隊と連携し救助

# 總務編



# 消防予算(平成24年度一般会計当初予算)

## 歳入

(単位 千円)

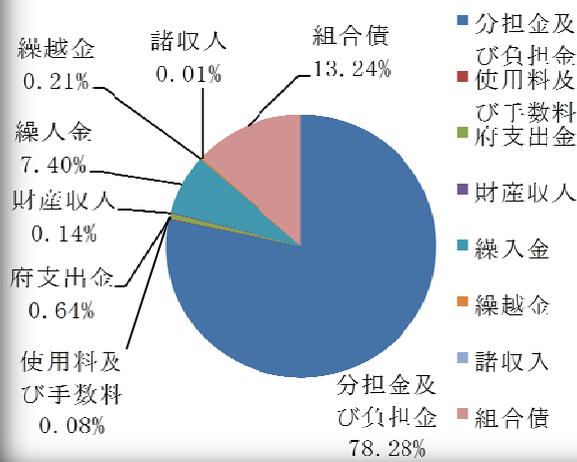
款 別	本年度	構成比(%)
1 分担金及び負担金	1,839,551	78.28
2 使用料及び手数料	1,793	0.08
3 府支出金	15,000	0.64
4 財産収入	3,324	0.14
5 繰入金	173,846	7.40
6 繰越金	5,000	0.21
7 諸収入	301	0.01
8 組合債	311,200	13.24
合 計	2,350,015	100.00

## 歳出

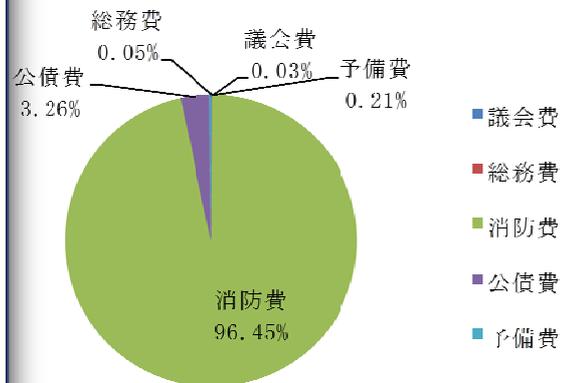
(単位 千円)

款 別	本年度	構成比(%)
1 議会費	691	0.03
2 総務費	1,236	0.05
3 消防費	2,266,578	96.45
4 公債費	76,510	3.26
5 予備費	5,000	0.21
合 計	2,350,015	100.00

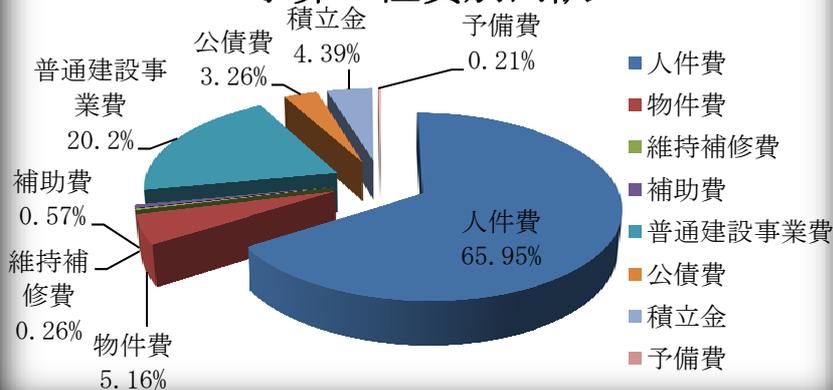
### 歳入構成比



### 歳出構成比



### 予算の性質別内訳

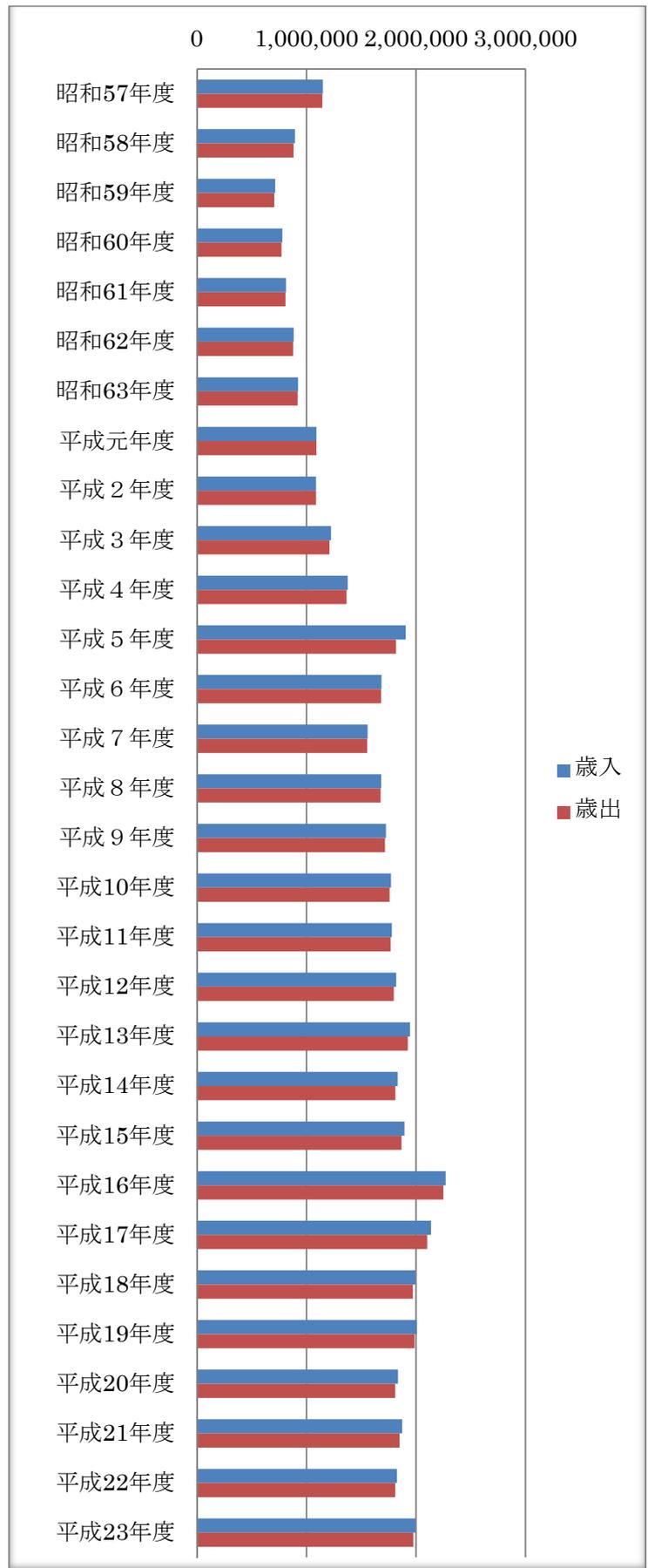


人件費	1,549,943 千円
物件費	121,257 千円
維持補修費	6,153 千円
補助費	13,398 千円
普通建設事業費	474,578 千円
公債費	76,510 千円
積立金	103,176 千円
予備費	5,000 千円
合計	2,350,015 千円

# 一般会計歳入歳出決算額の推移

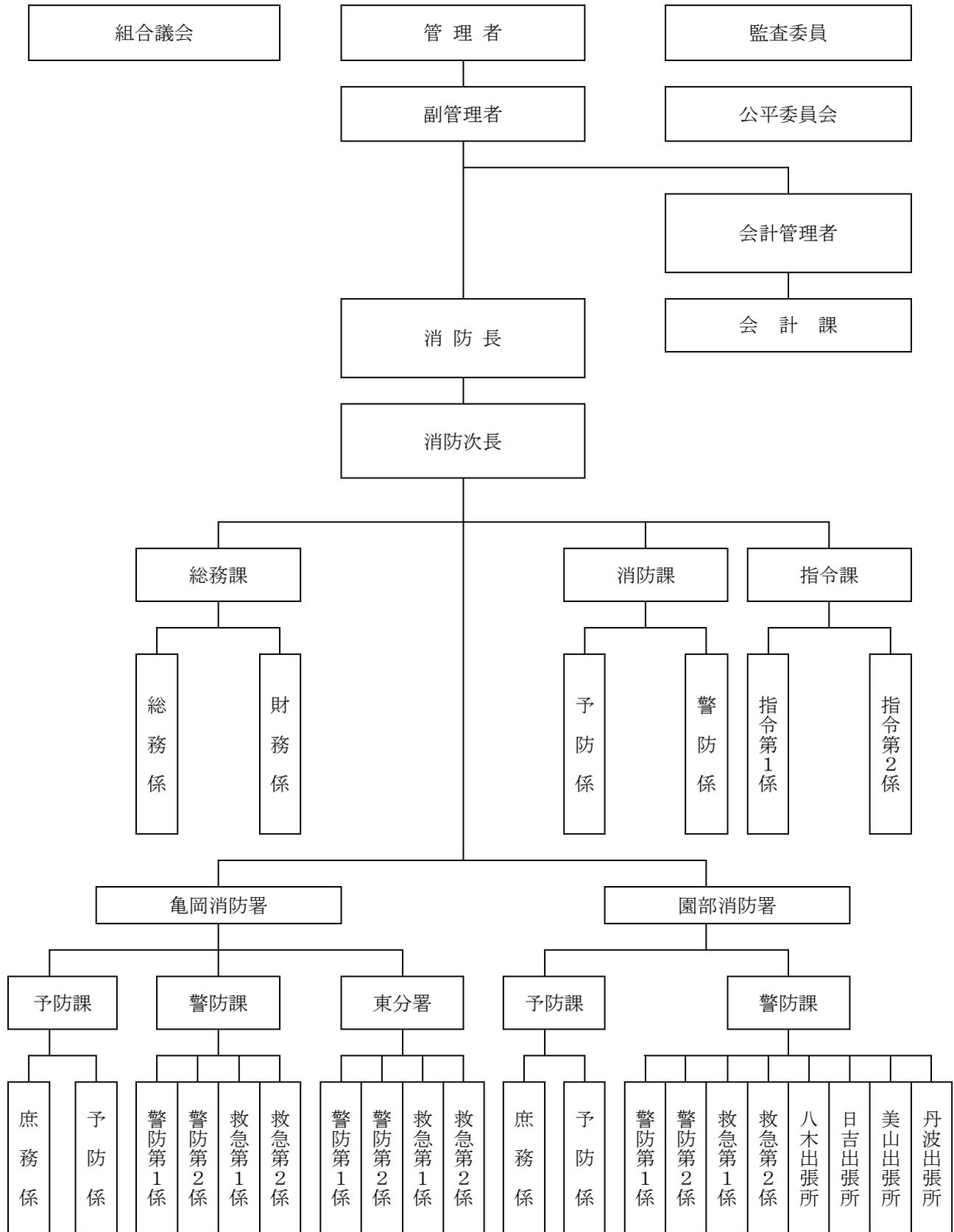
(単位:千円)

区分	歳入	歳出
昭和 57 年度	1,149,664	1,144,489
昭和 58 年度	895,053	882,369
昭和 59 年度	715,013	705,049
昭和 60 年度	779,956	771,616
昭和 61 年度	812,673	808,123
昭和 62 年度	883,781	878,916
昭和 63 年度	923,600	919,562
平成元年度	1,090,632	1,090,504
平成 2 年度	1,086,504	1,086,416
平成 3 年度	1,224,390	1,210,011
平成 4 年度	1,376,365	1,365,745
平成 5 年度	1,905,911	1,817,390
平成 6 年度	1,685,397	1,680,754
平成 7 年度	1,557,921	1,554,130
平成 8 年度	1,681,805	1,676,905
平成 9 年度	1,726,174	1,717,007
平成 10 年度	1,772,129	1,758,994
平成 11 年度	1,780,351	1,768,245
平成 12 年度	1,819,988	1,797,517
平成 13 年度	1,945,118	1,925,115
平成 14 年度	1,831,713	1,811,171
平成 15 年度	1,894,717	1,868,698
平成 16 年度	2,271,391	2,249,559
平成 17 年度	2,136,352	2,102,925
平成 18 年度	1,994,450	1,971,717
平成 19 年度	2,007,846	1,987,260
平成 20 年度	1,836,668	1,809,737
平成 21 年度	1,873,015	1,849,912
平成 22 年度	1,826,297	1,810,540
平成 23 年度	1,995,849	1,975,535



# 消防組合の組織機構

(平成 24 年 4 月 1 日現在)



# 消防本部署所の配置



## 消防庁舎の現況

(平成 24 年 4 月 1 日現在)

区分	所在地	構造	建築(取得)年月日	敷地面積 (㎡)	建築延面積 (㎡)
消防本部 亀岡消防署	亀岡市荒塚町 1 丁目 9 番 1 号	鉄筋コンクリート造 3 階建	S54. 7. 31	2, 478. 23	1, 831. 54
東分署	亀岡市篠町篠 向谷 5 番地の 1	鉄筋コンクリート造 2 階建	H6. 12. 21	1, 871. 29	1, 035. 43
園部消防署	南丹市園部町上木崎町 大將軍 19 番地 2	鉄筋コンクリート造 2 階建	S57. 9. 20	2, 865. 66	843. 34
八木出張所	南丹市八木町八木 河原 20 番地 30	鉄筋コンクリート造 2 階建	S59. 3. 30	559. 91	267. 00
日吉出張所	南丹市日吉町胡麻 イカガヘラ 13 番地 9	鉄筋コンクリート造 2 階建	H18. 7. 26	1, 293. 60	365. 04
美山出張所	南丹市美山町静原 石橋 8 番地	鉄筋コンクリート造 2 階建	S57. 9. 20	688. 63	268. 11
丹波出張所	船井郡京丹波町富田 長野 40 番地 3	鉄筋コンクリート造 2 階建	S57. 9. 20	609. 77	268. 11
訓練場	亀岡市荒塚町 1 丁目 18 番 4	—————	S59. 3. 31	1, 228. 47	—————
訓練場等	亀岡市荒塚町 1 丁目 29 番 1	—————	H20. 3. 11	999. 14	—————

## 消防用車両の現勢

車両別 署所別	ポンプ車	タンク車	化学車	はしご車	救助工作車	高規格救急車	指令車	査察車	広報車	連絡車	資機材搬送車	非常用消防車	訓練指・導通報車	非常用救急車	合計
消防本部							1				1		1		3
亀岡消防署	2	1	1	1	1	2	1	3	1	1		1		1	16
本署	1	1		1	1	1	1	3	1			1		1	12
東分署	1		1			1				1					4
園部消防署	5	1		1		5	1	1	2	4		1		1	22
本署	1	1		1		1	1	1	2			1		1	10
八木出張所	1					1				1					3
日吉出張所	1					1				1					3
美山出張所	1					1				1					3
丹波出張所	1					1				1					3
合計	7	2	1	2	1	7	3	4	3	5	1	2	1	2	41

※ 美山出張所及び丹波出張所のポンプ車は、水槽付き

## 職員数の推移

(単位:人)

区分	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計	条例定数
昭和 57 年度	1	3	3	17	13	9	63	109	132
昭和 58 年度	1	5	3	24	15	21	47	116	132
昭和 59 年度		5	2	23	17	22	45	114	132
昭和 60 年度	1	4	4	21	22	22	51	125	132
昭和 61 年度	1	4	4	22	23	34	44	132	132
昭和 62 年度	1	4	5	23	23	38	38	132	132
昭和 63 年度	1	4	5	24	29	45	24	132	168
平成 元 年度	1	4	5	26	39	41	27	143	168
平成 2 年度	1	4	8	26	41	39	23	142	168
平成 3 年度	1	4	11	26	43	39	17	141	168
平成 4 年度	1	3	12	29	44	41	16	146	168
平成 5 年度	1	3	17	35	40	33	38	167	168
平成 6 年度	1	3	17	35	40	32	40	168	168
平成 7 年度	1	5	18	43	40	27	34	168	168
平成 8 年度	1	4	17	45	42	27	29	165	174
平成 9 年度	1	4	18	50	41	22	38	174	174
平成 10 年度	1	3	16	50	41	22	38	171	174
平成 11 年度	1	3	17	51	41	25	36	174	174
平成 12 年度	1	5	17	55	39	31	25	173	174
平成 13 年度	1	5	24	55	37	36	16	174	174
平成 14 年度	1	5	24	60	30	35	19	174	174
平成 15 年度	1	7	22	63	37	32	11	173	174
平成 16 年度	1	8	26	60	40	28	14	177	183
平成 17 年度	1	9	25	64	41	21	18	179	183
平成 18 年度	1	7	24	65	39	18	22	176	183
平成 19 年度	1	8	25	68	35	24	17	178	183
平成 20 年度	1	8	23	74	37	17	20	180	183
平成 21 年度	1	9	30	74	31	18	17	180	183
平成 22 年度	1	10	31	75	28	20	17	182	183
平成 23 年度	1	10	34	74	29	19	15	182	183
平成 24 年度	1	9	33	78	29	17	19	186	186

# 職員配置の状況

(平成 24 年 4 月 1 日現在)

所属	区分	職 員							合計
		会計管理者	課長	主幹	課員				
消防組合	会計管理者	(1)							(1)
	会 計 課		1	(1)	(1)				1 (2)
	合 計	(1)	1	(1)	(1)				1 (3)

所属	階級	消防監	消 防	消 防	消 防	消 防	消 防	消防士	合計
			司令長	司 令	司令補	士 長	副士長		
消防本部	消 防 長	1							1
	次 長		1						1
	総 務 課		1 (1)	1	1			5	8 (1)
	総 務 係				2		1		3
	財 務 係				1		(1)		1 (1)
	消 防 課		1	3					4
	予 防 係			(1)					(1)
	警 防 係			(3)	(3)			1	1 (6)
	指 令 課		1	4 (1)	2				7 (1)
	指令第 1 係				4				4
指令第 2 係				3	1			4	
小 計		1	4 (1)	8 (5)	13 (3)	1	1 (1)	6	34 (10)
消防署			2						2
	予 防 課		(1)	1	1				2 (1)
	庶 務 係			(1)	1	1 (1)	(1)	(2)	2 (5)
	予 防 係				3	2 (1)		(1)	5 (2)
	警 防 課			7	2				9
	警防第 1 係				5	3	1	3	12
	警防第 2 係				5	3	1	3	12
	救急第 1 係			(1)	1	1		1	3 (1)
	救急第 2 係			(1)	2		1		3 (1)
	東 分 署			3					3
	警防第 1 係			(1)	2	1	2	1	6 (1)
	警防第 2 係			(1)	2	1	2	1	6 (1)
	救急第 1 係				2	1			3
救急第 2 係				2		1		3	
小 計			2 (1)	11 (5)	28	13 (2)	8 (1)	9 (3)	71 (12)
消防園部			2						2
	予 防 課		(1)	1	1				2 (1)
	庶 務 係				1	1 (1)		(1)	2 (2)
	予 防 係			(1)	(3)	1	(1)	(2)	1 (7)
	警 防 課			5	2				7
	警防第 1 係				3	1	1	1	6
	警防第 2 係				4	2	1		7
	救急第 1 係				3				3
	救急第 2 係			(1)	1	1			2 (1)
	八木出張所			3	6	2	1	1	13
	日吉出張所			1	6	2	2		11
	美山出張所			1	5	3	2		11
	丹波出張所			3	5	2	1	2	13
小 計			2 (1)	14 (2)	37 (3)	15 (1)	8 (1)	4 (3)	80 (11)
合 計		1	8 (3)	33 (12)	78 (6)	29 (3)	17 (3)	19 (6)	185 (33)

※派遣受入職員を含む。( )内は事務取扱又は兼務を示す。

# 職員教育・研修実績

(平成24年3月31日現在)

区分	年度	平成	平成	平成	平成	平成
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
消防大学校	上級幹部科			1		
	総合教育幹部科		1			1
	警防科		1			1
	予防科	1			1	
	救助科			1		
	火災調査科	1			1	
救急振興財団	救急救命士養成課程		1			
	救急隊員シンポジウム	1	1	1	1	1
消防科学総合センター	火災調査技術会議	1	1		1	1
京都府立消防学校	初任科	5	8	2	3	
	初級幹部科		2		2	
	中級幹部科	2		2		2
	上級幹部科		1			
	専科予防査察科	2	2	2	2	2
	専科危険物科				2	2
	専科救急科	5	8	2	4	
	専科警防科	2				2
	専科救助科	2	1	1	1	2
	専科特殊災害科	2	2	2		2
	専科教育火災調査科					2
	消防団指導科		2		2	
文部科学省登山研修所	山岳遭難救助研修会	1			1	1
京都府市町村振興協会	新規採用職員研修	2	2	5	2	2
	新任係長研修	1	1	1	2	2
	管理職研修	1	1	1	1	1
	監督者研修					1
	法制執務研修	2	2	1	2	2
横浜市消防局	実務研修	1	1	1		1
福岡市消防局	実務研修	1	1	1	1	1
日本火災学会	火災科学セミナー	1		1	1	1
京都市消防局	救急救命士養成課程	3	2	2	2	2
日本臨床救急医学会	日本臨床救急医学会総会	3	1	2	1	1
鈴鹿サーキット交通教育センター	緊急自動車運転講習会	1	1	1	1	1
防災行政無線運営協議会	無線従事者養成講習会	2	2			
日本経営協会	行政管理講座	3	3	3	3	3
日本広報協会	広報講座				2	2
日本無線協会	特殊無線技士養成課程			2	2	2

## 管内人口の推移

(単位:人)

年 度	亀岡市	京北町	美山町	園部町	八木町	丹波町	日吉町	瑞穂町	和知町	合計
昭和 57 年度	71,140	7,586	5,983	14,754	10,705	8,546	6,602	6,069	5,434	136,819
昭和 58 年度	72,262	7,604	5,918	14,713	10,708	8,588	6,552	6,054	5,280	137,679
昭和 59 年度	73,631	7,507	5,876	14,799	10,616	8,674	6,517	5,989	5,196	138,805
昭和 60 年度	75,313	7,446	5,842	14,879	10,551	8,663	6,448	5,936	5,073	140,151
昭和 61 年度	76,875	7,421	5,817	14,723	10,519	8,712	6,318	5,884	5,037	141,306
昭和 62 年度	78,739	7,411	5,749	14,650	10,392	8,736	6,134	5,824	4,944	142,579
昭和 63 年度	80,682	7,385	5,746	14,673	10,377	8,747	5,917	5,792	4,854	144,173
平成元年度	82,729	7,329	5,719	14,662	10,313	8,779	5,878	5,788	4,813	146,010
平成 2 年度	84,497	7,396	5,704	14,756	10,259	8,797	5,859	5,712	4,753	147,733
平成 3 年度	85,794	7,460	5,659	14,807	10,229	8,926	5,980	5,702	4,652	149,209
平成 4 年度	87,119	7,446	5,593	14,899	10,170	9,037	6,031	5,767	4,635	150,697
平成 5 年度	88,673	7,456	5,593	14,950	10,125	9,093	6,049	5,712	4,333	151,984
平成 6 年度	90,084	7,457	5,563	14,999	10,078	9,163	6,064	5,665	4,340	153,413
平成 7 年度	91,372	7,434	5,639	15,514	9,985	9,190	6,107	5,653	4,491	155,385
平成 8 年度	92,539	7,391	5,628	15,836	9,833	9,219	6,185	5,680	4,411	156,722
平成 9 年度	93,535	7,338	5,553	15,887	9,753	9,229	6,208	5,652	4,383	157,538
平成 10 年度	94,090	7,278	5,507	15,884	9,561	9,286	6,245	5,607	4,337	157,795
平成 11 年度	94,488	7,231	5,501	15,983	9,496	9,184	6,274	5,576	4,279	158,012
平成 12 年度	95,562	7,116	5,466	16,138	9,486	9,221	6,408	5,604	4,224	159,225
平成 13 年度	95,890	7,013	5,525	16,199	9,308	9,142	6,333	5,551	4,198	159,159
平成 14 年度	95,661	6,977	5,466	16,369	9,099	9,069	6,314	5,480	4,159	158,594
平成 15 年度	95,506	6,912	5,401	16,370	8,997	9,019	6,271	5,400	4,082	157,958
平成 16 年度	95,489	6,823	5,355	16,279	8,906	8,927	6,197	5,353	4,006	157,335
平成 17 年度	95,368	--	5,233	16,202	8,802	8,806	6,143	5,272	3,929	149,755

(単位:人)

年 度	亀岡市	南丹市 (園部町、八木町、日吉町、 美山町が合併)	京丹波町 (丹波町、瑞穂町、 和知町が合併)	合計
平成 18 年度	95,064	36,176	17,775	149,015
平成 19 年度	94,844	35,749	17,570	148,163
平成 20 年度	94,611	35,382	17,356	147,349
平成 21 年度	94,243	34,965	17,124	146,332
平成 22 年度	93,790	34,691	16,840	145,321
平成 23 年度	93,393	34,398	16,529	144,320
平成 24 年度	93,140	34,146	16,343	143,629



# 予 防 編



## 火災予防週間



一日消防署長(亀岡消防署)



一日消防士(園部消防署)

## 危険物安全週間



危険物運搬車両街頭検査(亀岡消防署)



危険物運搬車両街頭検査(園部消防署)

## 文化財の防火



文化財の消火訓練(亀岡消防署)



文化財の消火訓練(園部消防署)

## 防火七夕



防火七夕会(亀岡消防署)



防火七夕会(園部消防署)

## 住民の消防体験



自主防災会による救助(亀岡消防署)  
講習会等の開催



防火座談会



危険物安全管理研修会



防火管理講習会

## 消火訓練



自衛消防隊の消火訓練



自衛消防隊の消火訓練大会

## 消防用の設備・施設等の取扱訓練



消火栓の操作説明



自動火災報知設備の操作説明

## 防火対象物の推移

(単位:件)

区 分	亀岡市	京北町	美山町	園部町	八木町	丹波町	日吉町	瑞穂町	和知町	合計
昭和 57 年度	929	233	97	129	191	123	55	32	76	1,865
昭和 58 年度	1,030	234	100	135	197	125	57	32	76	1,986
昭和 59 年度	1,043	229	107	206	198	153	68	35	76	2,115
昭和 60 年度	1,069	237	115	229	203	160	70	38	82	2,203
昭和 61 年度	1,072	243	119	273	205	172	70	44	86	2,284
昭和 62 年度	1,126	90	122	295	207	171	79	56	57	2,203
昭和 63 年度	1,126	92	122	295	105	171	81	58	71	2,121
平成元年度	1,171	116	129	294	125	171	64	74	78	2,222
平成 2 年度	1,193	121	132	306	127	178	68	84	82	2,291
平成 3 年度	1,249	124	270	325	135	183	75	88	82	2,531
平成 4 年度	1,293	129	277	346	137	189	77	92	90	2,630
平成 5 年度	1,322	133	283	363	141	194	83	93	92	2,704
平成 6 年度	1,437	137	287	394	147	201	88	99	98	2,888
平成 7 年度	1,503	142	288	410	152	211	91	103	101	3,001
平成 8 年度	1,570	146	291	433	164	217	94	108	103	3,126
平成 9 年度	1,612	148	296	455	179	224	100	108	106	3,228
平成 10 年度	1,782	155	298	466	210	232	107	114	108	3,472
平成 11 年度	1,791	155	303	473	217	240	115	116	108	3,518
平成 12 年度	1,847	156	303	477	221	244	117	117	108	3,590
平成 13 年度	1,814	158	307	492	239	249	117	119	111	3,606
平成 14 年度	1,835	160	307	503	244	249	118	124	112	3,652
平成 15 年度	1,848	169	315	517	247	252	127	126	112	3,713
平成 16 年度	1,853	181	312	534	258	258	126	138	112	3,772

(単位:件)

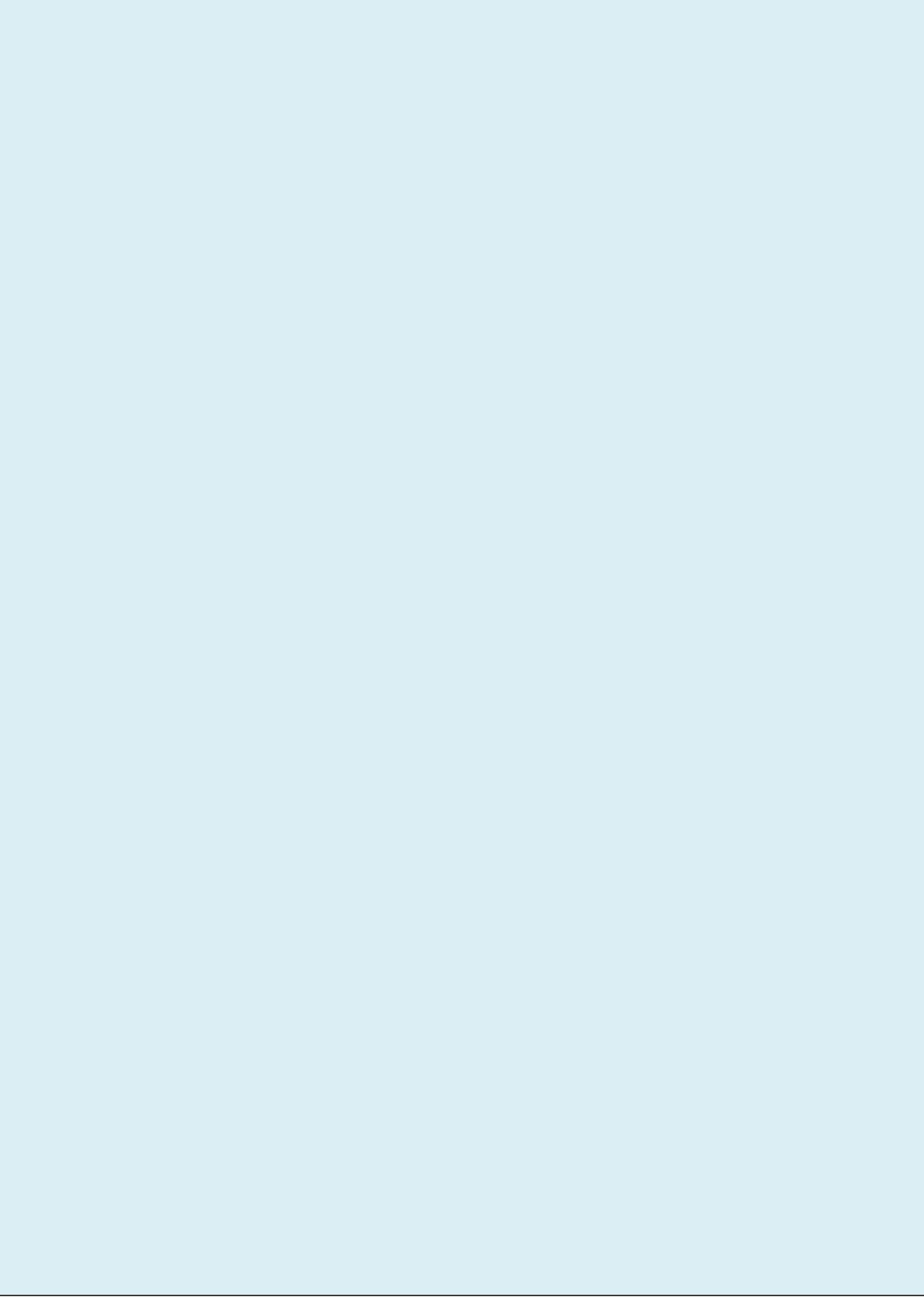
区 分	亀岡市	南丹市 (園部町、八木町、日吉町、 美山町が合併)	京丹波町 (丹波町、瑞穂町、 和知町が合併)	合計
平成 17 年度	1,881	1,134	508	3,523
平成 18 年度	1,892	1,149	535	3,576
平成 19 年度	1,895	1,183	555	3,633
平成 20 年度	1,863	1,203	562	3,628
平成 21 年度	1,959	1,188	506	3,653
平成 22 年度	1,908	1,236	545	3,689
平成 23 年度	1,974	1,246	537	3,757

## 危険物施設の推移

(単位:件)

区分	製造所	貯蔵所								取扱所					合計
		屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	貯蔵所計	給油	販売	移送	一般	取扱所計	
昭和 57 年度	2	106	23	9	134	1	11	6	290	102	1		114	217	509
昭和 58 年度	3	102	23	11	137	1	12	5	291	101	1		117	219	513
昭和 59 年度	3	107	23	10	138	1	13	6	298	103	1		118	222	523
昭和 60 年度	3	105	22	10	143	1	19	5	305	103	1		121	225	533
昭和 61 年度	3	109	22	11	153	1	23	10	329	104	1		122	227	559
昭和 62 年度	3	109	22	12	156		29	10	338	109	1		67	177	518
昭和 63 年度	3	109	22	12	162		33	12	350	103	1		68	172	525
平成元年度	3	109	24	12	165		41	12	363	106	1		69	176	542
平成 2 年度	3	111	21	10	172		39	10	363	103	1		67	171	537
平成 3 年度	2	112	20	10	176		43	7	368	105	1		70	176	546
平成 4 年度	2	114	20	10	177		44	7	372	106	1		73	180	554
平成 5 年度	2	118	20	10	182		44	8	382	110	1		75	186	570
平成 6 年度	2	117	20	9	185		50	8	389	112	1		73	186	577
平成 7 年度	2	111	21	9	188		52	8	389	108	1		72	181	572
平成 8 年度	2	111	20	9	193		53	8	394	112	1		71	184	580
平成 9 年度	2	110	19	10	196		54	8	397	117	1		71	189	588
平成 10 年度	3	108	21	10	200		55	8	402	118	1		73	192	597
平成 11 年度	3	97	22	10	202		56	8	395	111	1		74	186	584
平成 12 年度	3	94	21	11	212		56	7	401	105	1		77	183	587
平成 13 年度	3	95	25	11	211		55	7	404	108	1		84	193	600
平成 14 年度	4	94	27	11	213		55	6	406	107	1		84	192	602
平成 15 年度	5	90	29	11	211		55	6	402	106	1		80	187	594
平成 16 年度	4	86	29	10	213		56	6	400	101	1		85	187	591
平成 17 年度	4	83	29	9	210		54	6	391	97	1		85	183	578
平成 18 年度	5	81	26	9	200		58	7	381	91	1		83	175	561
平成 19 年度	5	82	25	9	191		59	7	373	95	1		79	175	553
平成 20 年度	5	85	25	9	187		60	7	373	94	1		81	176	554
平成 21 年度	5	84	25	9	181		62	6	367	95	1		79	175	547
平成 22 年度	5	83	25	9	176		61	6	360	93	1		77	171	536
平成 23 年度	5	84	24	9	165		60	6	349	91	1		73	165	519

# 警 防 編



## 警防技術向上訓練



梯上放水訓練



要救助者の救出

## 消防団指導



京都府消防協会府内支部教育訓練



水防訓練

## 消防訓練



火災防ぎょ訓練



危険物火災消火訓練

## 防災訓練



救助隊のはしごによる救助活動



DMATとの共同訓練

## 救助訓練



救助訓練大会（ほふく救出訓練）



高所救助訓練

## 特殊災害訓練



硫化水素災害対応訓練



緊急消防援助隊合同訓練

## 水難救助訓練



中州救助訓練



ボートを使用した水難救助訓練

## 山岳救助訓練



溪流踏破訓練



バスケット担架引揚訓練

## 救急の日・救急医療週間



街頭広報



住民対象の救急広場の開催

## 救急活動訓練



DMA T、京都府警察との合同訓練



消防訓練に伴う救急訓練



SARS対応の訓練



防災訓練における救急活動

## ドクターヘリの運航開始



運行前訓練



就航式

## 火災出動件数の推移

(単位:件)

区 分	亀岡市	京北町	美山町	園部町	八木町	丹波町	日吉町	瑞穂町	和知町	管外	合計
昭和 57 年	22				2	3					27
昭和 58 年	15	1		4	1	6	2	4	1		34
昭和 59 年	16	2	1	7	4	3	5	1	3		42
昭和 60 年	19	1	1	4	6	2	1	1	2		37
昭和 61 年	12	4	6	9	4	7	2	1	1		46
昭和 62 年	19	1		6	2			5	2		35
昭和 63 年	13	5		6	3	2	2	2	2		35
平成元年	12	3	1		1	3	3	2	2		27
平成 2 年	19	1	1	5		1	2	2	1		32
平成 3 年	19	1	2	4	4	3	1	2	2		38
平成 4 年	24	2	4	4	2	4	1	1	1		43
平成 5 年	25	2	1	6	3	2	4	2			45
平成 6 年	35	1	2	7	5	6	2	1	3		62
平成 7 年	31	3	4	5	1	6	3	4	1		58
平成 8 年	28	1	3	5	4	5		6	1		53
平成 9 年	28	7	4	3	2	6	4	2			56
平成 10 年	19	1	3	5	4	2	2	2	1		39
平成 11 年	30		1	4	1	2	1	2	3		44
平成 12 年	31	5	3	4	4	4	3	5	2		61
平成 13 年	30	5	2	10	2	5	1	4	2		61
平成 14 年	23	2	4	10	2	6	3	2	1		53
平成 15 年	19	1	3	10	2	7	3	6	2		53
平成 16 年	27	3	6	3	1	4	0	7	1		52
平成 17 年	27	5	2	5	4	2	1	3	1		50

(単位:件)

区 分	亀岡市	南丹市 (園部町、八木町、日吉町、美山町が合併)	京丹波町 (丹波町、瑞穂町、和知町が合併)	管外	計
平成 18 年	26	14	7		47
平成 19 年	41	12	3		56
平成 20 年	26	14	10		50
平成 21 年	23	8	6		37
平成 22 年	29	15	7		51
平成 23 年	20	9	12		41

備考：昭和 57 年中の亀岡市を除く 8 町の火災出動件数は、10 月 1 日から 12 月 31 日までの件数

## 救助出動件数の推移

(単位:件)

区 分	亀岡市	京北町	美山町	園部町	八木町	丹波町	日吉町	瑞穂町	和知町	管外	合計
昭和 60 年	15	1	1	3	3		2		2		27
昭和 61 年	17			5	5	5		1	2		35
昭和 62 年	21	2		7	2	8		2	4		46
昭和 63 年	30			7	2	1	1	5	4		50
平成元年	35	2		6	2	6	3	8	8	2	72
平成 2 年	32	1	3	15	7	5	1	6	5		75
平成 3 年	32	2	3	7	8	12	4	12	3	2	85
平成 4 年	37	2	4	9	2	7	5	9	3		78
平成 5 年	44	5	1	12	6	12	6	8	7	3	104
平成 6 年	38	7	1	7	6	8	3	5	4	4	83
平成 7 年	45	3	6	12	10	7	5	7	5		100
平成 8 年	44	6	6	13	10	10	4	11	3	2	109
平成 9 年	63	6	2	13	11	13	6	14	7	1	136
平成 10 年	49	8	3	10	8	15	3	12	5	2	115
平成 11 年	43	5	10	14	7	12	6	10	2	1	110
平成 12 年	54	1	6	18	6	4	7	5	3	3	107
平成 13 年	48	4	3	12	13	13	7	9	4	3	116
平成 14 年	35	8	2	5	5	6	7	1	5	3	77
平成 15 年	34	4	3	5	9	6	7	7	3	3	81
平成 16 年	36	3	9	11	3	4	5	4	1	2	78
平成 17 年	31	1	8	5	3	7	4	4	7	1	71

(単位:件)

区 分	亀岡市	南丹市 (園部町、八木町、日吉町、美山町が合併)	京丹波町 (丹波町、瑞穂町、和知町が合併)	管外	計
平成 18 年	40	25	14	1	80
平成 19 年	29	24	8	2	63
平成 20 年	33	23	17		73
平成 21 年	42	25	9	2	78
平成 22 年	36	19	11	3	69
平成 23 年	57	23	17	2	99

備考：昭和 60 年より救助出動統計を実施

## 救急出動件数の推移

(単位:件)

区 分	亀岡市	京北町	美山町	園部町	八木町	丹波町	日吉町	瑞穂町	和知町	管外	合計
昭和 57 年	1,182	35	17	51	36	42	17	9	13		1,402
昭和 58 年	1,303	106	77	230	149	134	77	51	45		2,172
昭和 59 年	1,387	95	116	270	168	150	82	61	60		2,389
昭和 60 年	1,456	121	96	257	192	184	81	76	51	1	2,515
昭和 61 年	1,397	160	106	256	229	183	65	107	57	5	2,565
昭和 62 年	1,506	172	124	288	221	197	88	98	46	8	2,748
昭和 63 年	1,521	147	149	254	231	169	71	105	52	1	2,700
平成元年	1,521	174	125	269	229	170	80	89	57	10	2,724
平成 2 年	1,651	133	105	370	227	196	78	87	48	10	2,905
平成 3 年	1,650	134	119	318	277	204	90	110	51	5	2,958
平成 4 年	1,712	139	148	308	272	196	75	113	40	7	3,010
平成 5 年	1,733	135	131	355	249	193	102	86	64	13	3,061
平成 6 年	1,750	148	127	337	318	237	94	97	54	8	3,170
平成 7 年	1,988	137	142	431	325	213	111	105	51	8	3,511
平成 8 年	2,087	129	135	352	302	234	96	135	46	11	3,527
平成 9 年	2,075	122	148	395	319	249	117	115	62	16	3,618
平成 10 年	2,239	149	147	420	318	233	130	118	59	15	3,828
平成 11 年	2,392	165	213	415	336	244	145	173	37	19	4,139
平成 12 年	2,487	139	197	475	382	282	153	152	75	9	4,351
平成 13 年	2,599	174	193	465	385	294	156	168	80	9	4,523
平成 14 年	2,656	177	190	394	405	282	172	118	114	14	4,522
平成 15 年	2,747	187	228	423	359	253	183	168	109	20	4,677
平成 16 年	2,996	234	243	471	394	285	164	163	95	19	5,064
平成 17 年	3,140	65	271	553	417	320	227	180	121	20	5,314

(単位:件)

区 分	亀岡市	南丹市 (園部町、八木町、日吉町、美山町が合併)	京丹波町 (丹波町、瑞穂町、和知町が合併)	管外	計
平成 18 年	3,155	1,395	623	13	5,186
平成 19 年	3,186	1,468	646	15	5,315
平成 20 年	3,117	1,347	633	10	5,107
平成 21 年	3,195	1,377	651	15	5,238
平成 22 年	3,347	1,401	734	27	5,509
平成 23 年	3,587	1,481	809	21	5,898

備考：昭和 57 年中の亀岡市を除く 8 町の救急出動件数は、10 月 1 日から 12 月 31 日までの件数

## ドクターヘリの要請状況

(単位:件)

区 分	要請等の状況	火災	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	自損	急病	その他	合計
平成22年度	出場要請件数	1	1	7	4	3	4	1	8		29
	ヘリ搬送件数		1	1	2	1	1		2		8
	キャンセル件数	1		6	2	2	3	1	6		21
平成23年度	出場要請件数	2		23	5		7		9		46
	ヘリ搬送件数	2		12	4		3		4		25
	キャンセル件数			11	1		4		5		21
平成24年度 (4月～9月)	出場要請件数			15	2		2	1	2		22
	ヘリ搬送件数			8	2		2		1		13
	キャンセル件数			7				1	1		9

## ドクターヘリの搬送状況

(単位:件)

区 分	搬送先 医療機関名	火災	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	自損	急病	その他	合計
平成22年度	公立南丹病院			1		1	1		2		5
	公立豊岡病院				1						1
	千里救命センター		1								1
	福知山市民病院				1						1
	合 計		1	1	2	1	1		2		8
平成23年度	公立南丹病院	1		1	2		1		3		8
	公立豊岡病院			6			2				8
	京都第一赤十字病院	1		3	1						5
	福知山市民病院			2	1				1		4
	合 計	2		12	4		3		4		25
平成24年度 (4月～9月)	公立南丹病院						2				2
	公立豊岡病院			3							3
	京都第一赤十字病院			4	1						5
	福知山市民病院				1				1		2
	大阪大学医学部附属病院			1							1
	合 計			8	2		2		1		13

## 消防相互応援協定の状況

### 消防相互応援協定

大規模火災、爆発、その他特殊な火災が発生し、管轄する消防機関の消防力では防ぐことが著しく困難な不測の事態に対応することを目的として、消防組織法の規定に基づき、隣接市町等と消防相互応援協定を締結しています。

( ) 内は初期の締結年月日等

協定市町等	締結年月日	内 容
茨木市・亀岡市	平成18年 6月14日 (昭和59年3月31日)	火災・救急・救助業務 (火災・救急業務)
能勢町・亀岡市	平成18年 6月14日 (昭和59年3月31日)	火災・救急・救助業務 (火災・救急業務)
豊能町・亀岡市	平成18年 6月14日 (昭和59年3月31日)	火災・救急・救助業務 (火災・救急業務)
京都市・亀岡市	平成18年 7月 1日 (昭和62年8月31日)	火災・救急・救助業務 (火災・救急・救助業務)
京都市・南丹市	平成18年 7月 1日	火災・救急・救助業務
高槻市・亀岡市	平成19年 2月 1日 (昭和59年3月31日)	水火災・救急・救助業務 (火災・救急業務)
若狭消防組合	平成20年 3月 1日 (昭和58年11月1日)	火災・救急・救助・その他業務 (火災・救急業務)
篠山市	平成20年 3月 1日 (平成11年7月1日)	火災・救急・救助・その他業務 (火災・救急・救助・その他業務)
福知山市	平成20年 4月 1日 (昭和59年9月1日)	火災・救急・救助・その他業務 (火災・救急・救助業務)
綾部市	平成20年 4月 1日 (昭和58年12月1日)	火災・救急・救助・その他業務 (火災・救急業務)

### 京都府広域消防相互応援協定

隣接市町等の消防力をもってしても防ぎよ困難な大規模災害等及び特殊災害に対応することを目的として、京都府内の市町村及び消防一部事務組合と広域消防相互応援協定を締結しています。

( ) 内は初期の締結年月日等

締結年月日	協定市町等	内 容
平成19年 3月12日 (平成元年12月1日)	京都府全域	大規模災害・特殊災害 (災害全般)

## 京都縦貫自動車道（綾部宮津道路及び丹波綾部道路）における消防相互応援協定

京都縦貫自動車道の京丹波わちインターチェンジから宮津天橋立インターチェンジまでの間の道路上における災害時の対応策として、綾部市、舞鶴市及び宮津与謝消防組合と消防相互応援協定を締結しています。

締結年月日	協定市町等	内 容
平成20年 9月13日	綾部市・舞鶴市・宮津与謝消防組合	火災・救急・救助業務

## 京都縦貫自動車道老ノ坂亀岡道路の消防相互応援に関する申し合わせ書

京都縦貫自動車道の沓掛インターチェンジから篠インターチェンジまでの間の道路上における災害時の対応策として、京都市消防局との間で申し合わせ書を締結しています。

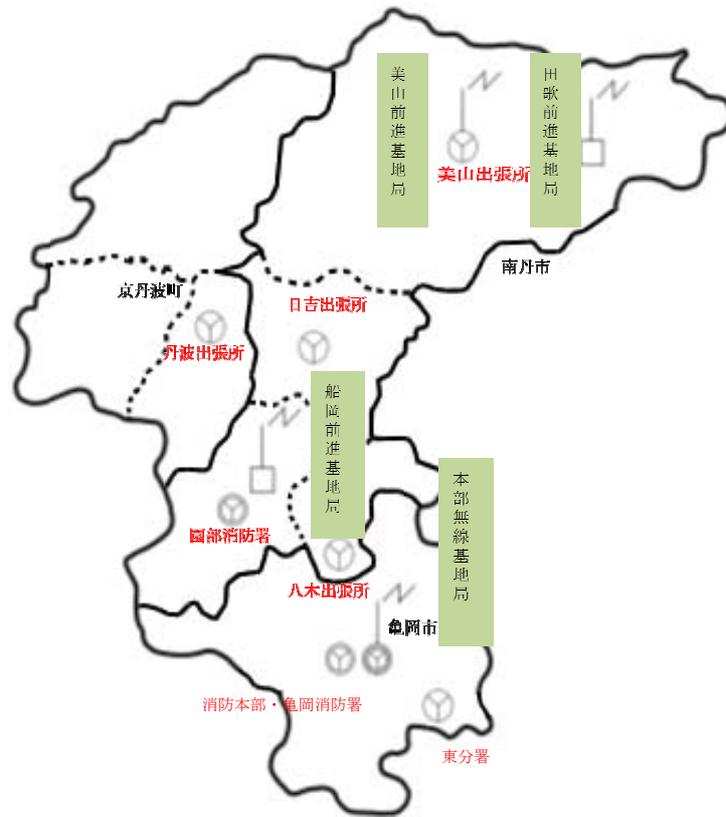
締結年月日	協定市町等	内 容
昭和63年 2月17日	京都市消防局	火災・救急・救助業務

## 緊急消防援助隊の登録

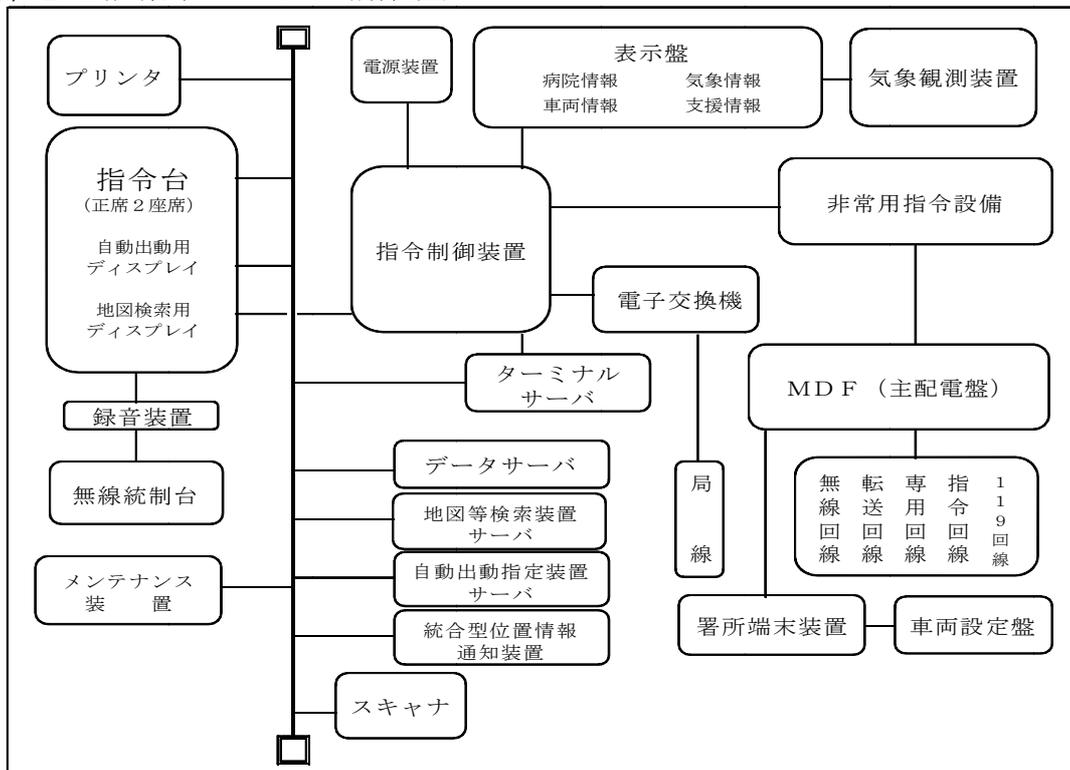
国内で発生した地震等の大規模災害において、被災地の迅速な人命救助活動を実施する緊急消防援助隊に救助隊、消火隊、救急隊及び特殊装備隊の計4隊を登録しています。

# 消防緊急通信システムの状況

## 消防通信施設の現況



## 消防緊急通信指令システム構成図



## 指令システムの現況

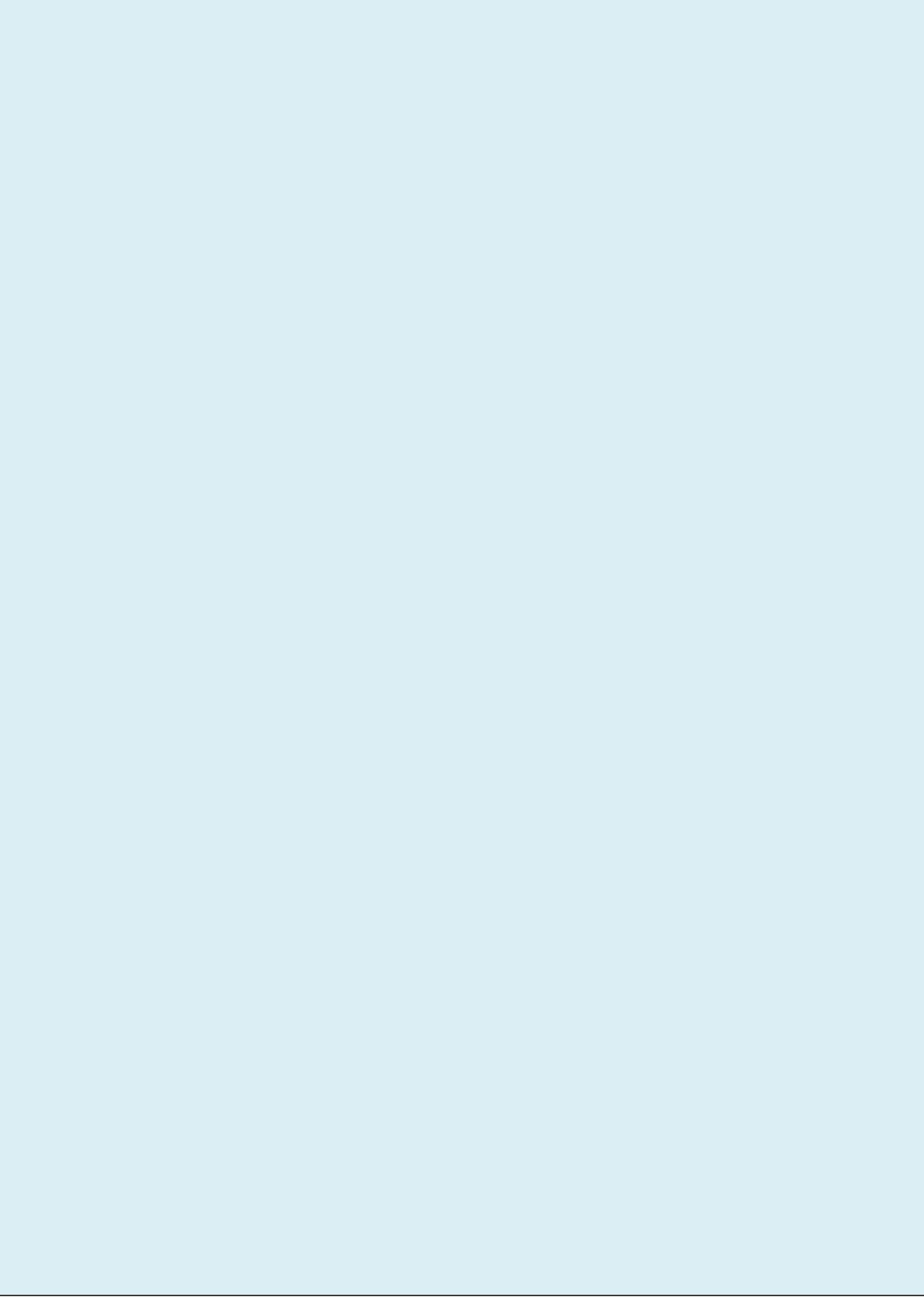
機器名	数量	備考
1 指令装置		
指令台（一体型）	2式	2席
指令制御装置	1式	
非常用指令設備	1式	
録音装置	1式	
直流電源装置	1式	
署所端末装置	7式	
2 表示盤		
車両運用表示盤	1式	大型プロジェクター
総合情報表示盤	1式	
気象情報表示盤	1式	
病院運用表示盤	1式	
3 無線制御装置		
無線統制台	1台	
4 自動出動指定装置		
制御処理装置	2式	指令台装備
データメンテナンス装置	1式	
日本語プリンタ	1式	
日本語ディスプレイ装置	2式	
無停電電源装置	1式	
5 地図等検索装置		
制御処理装置	2式	指令台装備
日本語ディスプレイ装置	2式	
スキャナ	1式	
カラープリンター	1式	
6 統合型位置情報通知装置		
	1式	
7 気象情報収集装置		
情報収集装置	1式	
各種センサー	1式	
8 幹部出退表示盤		
	1式	
9 災害情報案内装置		
	1台	
10 順次自動指令装置		
	1台	
11 拡張台		
	1式	
12 耐雷トランス		
	1台	30KVA
13 庁内電話交換設備		
	1式	
14 非常発動発電設備		
	1式	
15 救急医療情報端末		
	1式	

# 消防無線電話配置の状況

(平成 24 年 4 月 1 日現在)

区分 所属		合 計	超 短 波 無 線 電 話 機		
			基 地 局	移 動 局	
				車 両 搭 載	携 帯
消 防 本 部		6	4	2	
亀岡消防署	本 署	19		10	9
	東 分 署	8		4	4
園部消防署	本 署	14		9	5
	八 木 出 張 所	5		3	2
	日 吉 出 張 所	5		3	2
	美 山 出 張 所	5		3	2
	丹 波 出 張 所	5		3	2
合 計		67	4	37	26

# 管内消防団の状況





団 長  
浅田 晴彦

## 亀岡市消防団

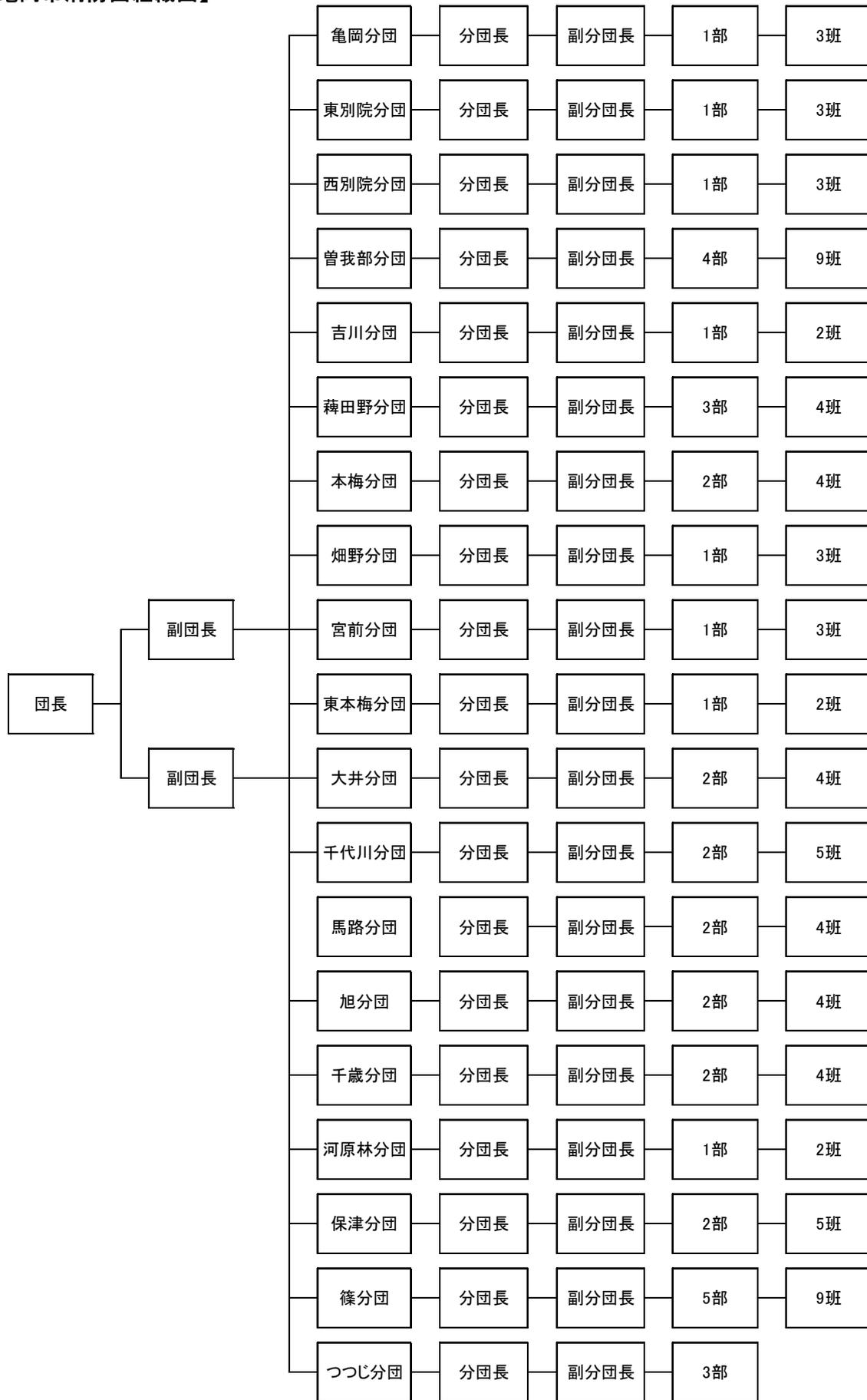
管内面積	224.90 km <sup>2</sup>	団 員 数 895人
人 口	93,140人	

### 沿 革

- 昭和30年 1月 1日 市制施行に伴い、16町村消防団が合併、亀岡市消防団が結成（16分団、団員数2,995名、人口38,049人、世帯数7,655世帯）
- 昭和31年 9月30日 1村（東本梅村）の編入に伴い、17分団、団員数2,121名とする。
- 昭和32年 4月 1日 亀岡市消防本部の設置に伴い、団員数を2,000名に減員する。
- 昭和34年 9月30日 1村（篠村）の編入に伴い、18分団、団員数2,078名とする。
- 昭和35年10月14日 台風16号での人命救助、災害復旧等の顕著な活動に対し、日本消防協会長から功労表彰（竿頭綬）を受賞する。
- 昭和35年12月10日 台風16号での功労に対し、消防庁長官功労表彰（水防功労）を受賞する。
- 昭和43年 4月 1日 常備消防の充実に伴い、消防団員を減員、1,000名の少数精鋭とする。
- 昭和45年10月15日 第2回全国消防操法大会に京都府代表として亀岡市消防団が出場する。
- 昭和56年 2月11日 日本消防協会長表彰（表彰旗）を受賞する。
- 昭和58年 9月24日 亀岡市長表彰（表彰旗）を創設する。
- 昭和61年 3月 5日 消防庁長官表彰（表彰旗）を受賞する。
- 平成 元年10月25日 昭和63年4月28日、29日の山林火災における消火活動に対し、府民の消防賞（京都新聞社）を受賞する。
- 平成 元年11月17日 9月2日・3日の水防功労に対し、建設大臣から水防功労表彰を受賞する。
- 平成 6年 1月30日 京都府知事表彰（表彰旗）を受賞する。
- 平成 8年10月21日 千代川分団ラップ隊が府民の消防賞（京都新聞社）を受賞する。
- 平成 9年 7月 9日 亀岡市長特別表彰（表彰旗）を創設する。
- 平成12年11月20日 45年 亀岡市消防団のあゆみを発行する。
- 平成13年 2月 9日 日本消防協会特別表彰（まとい）を受賞する。
- 平成13年 9月 1日 亀岡市長表彰（まとい）を創設する。
- 平成14年 4月 1日 部・班の整理・統合、つつじ分団の創設に伴い19分団、団員数900名とする。
- 平成16年 8月 1日 第18回京都府消防操法大会において、亀岡市消防団が小型ポンプ操法の部で優勝する。
- 平成18年 1月29日 京都府知事特別表彰旗を受賞する。
- 平成18年 8月 6日 第19回京都府消防操法大会において、亀岡市消防団がポンプ車操法の部で準優勝する。
- 平成23年 3月31日 55年亀岡市消防団のあゆみを発行する。



【亀岡市消防団組織図】





団 長  
小林 敏雄

## 南丹市消防団

管内面積	616.31km <sup>2</sup>	団 員 数 1,500人
人 口	34,146人	

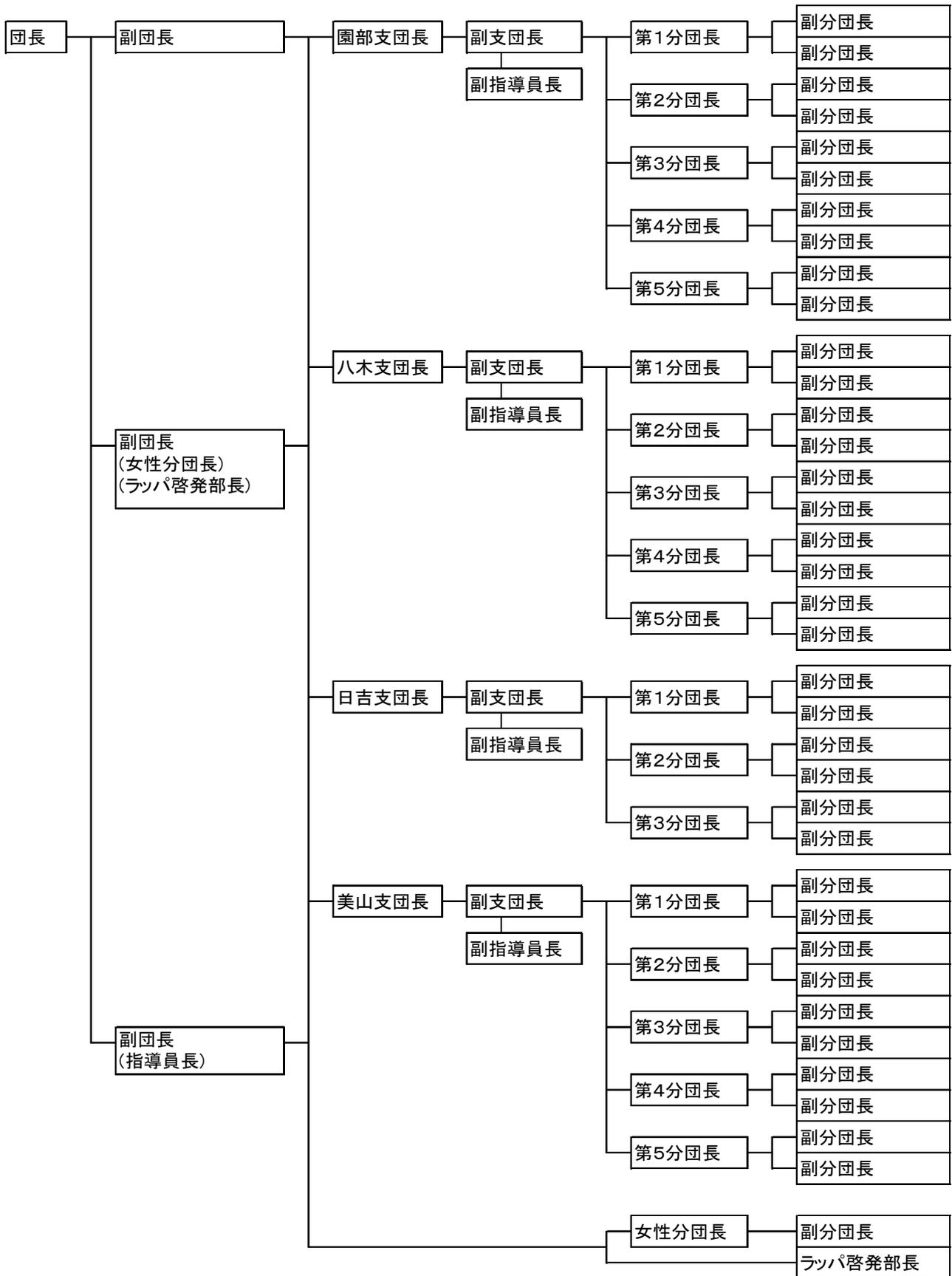
### 沿 革

- 平成18年 1月 1日 南丹市消防団設置 団員1,590人(定数1,700人)
- 平成20年 7月 6日 第1回南丹市消防団操法大会実施
- 平成22年 1月 1日 京都府消防協会長表彰優秀竿頭授受章
- 平成22年 7月18日 第2回南丹市消防団操法大会実施
- 平成23年 4月 1日 消防団員定数改正(定数1,550人)
- 平成23年 2月 6日 京都府知事表彰竿頭授受章
- 平成24年 2月23日 日本消防協会長表彰竿頭授受章
- 平成24年 4月 1日 消防団組織再編(本部の充実、女性分団設置など) 団員1,500人
- 平成24年 7月22日 第3回南丹市消防団操法大会実施
- 平成24年 8月 5日 第22回京都府消防操法大会ポンプ車操法の部第3位入賞



南丹市消防団操法大会

【南丹市消防団組織図】





団 長  
梅原 好範

## 京丹波町消防団

管内面積	303.07 km <sup>2</sup>	団 員 数 853人
人 口	16,343人	

### 沿 革

- 平成17年10月11日 丹波町・瑞穂町・和知町が合併し、京丹波町が発足
- 平成18年 4月 1日 京丹波町消防団が発足  
初代団長に森 良行氏就任。団員総数887名
- 平成18年 8月 6日 第19回京都府消防操法大会において、丹波支団第3分団が小型ポンプ操法の部で5位入賞
- 平成20年 4月 1日 消防団組織改編 3支団16分団47部体制、団員数866名（定員900名）。活動服の統一、分団旗新調
- 平成20年 7月27日 第20回京都府消防操法大会において、瑞穂支団瑞穂第1本部がポンプ車操法の部において3位に入賞
- 平成22年 4月 1日 団長に梅原好範氏が就任
- 平成22年 8月 1日 第21回京都府消防操法大会において和知支団第3分団がポンプ車操法の部において3位、瑞穂支団第2分団が、小型ポンプ操法の部において3位に入賞
- 平成24年 8月 5日 第22回京都府消防操法大会において丹波支団第4分団が小型ポンプ操法の部で2位入賞  
優秀選手賞をポンプ車操法の部 指揮者（和知支団）が受賞

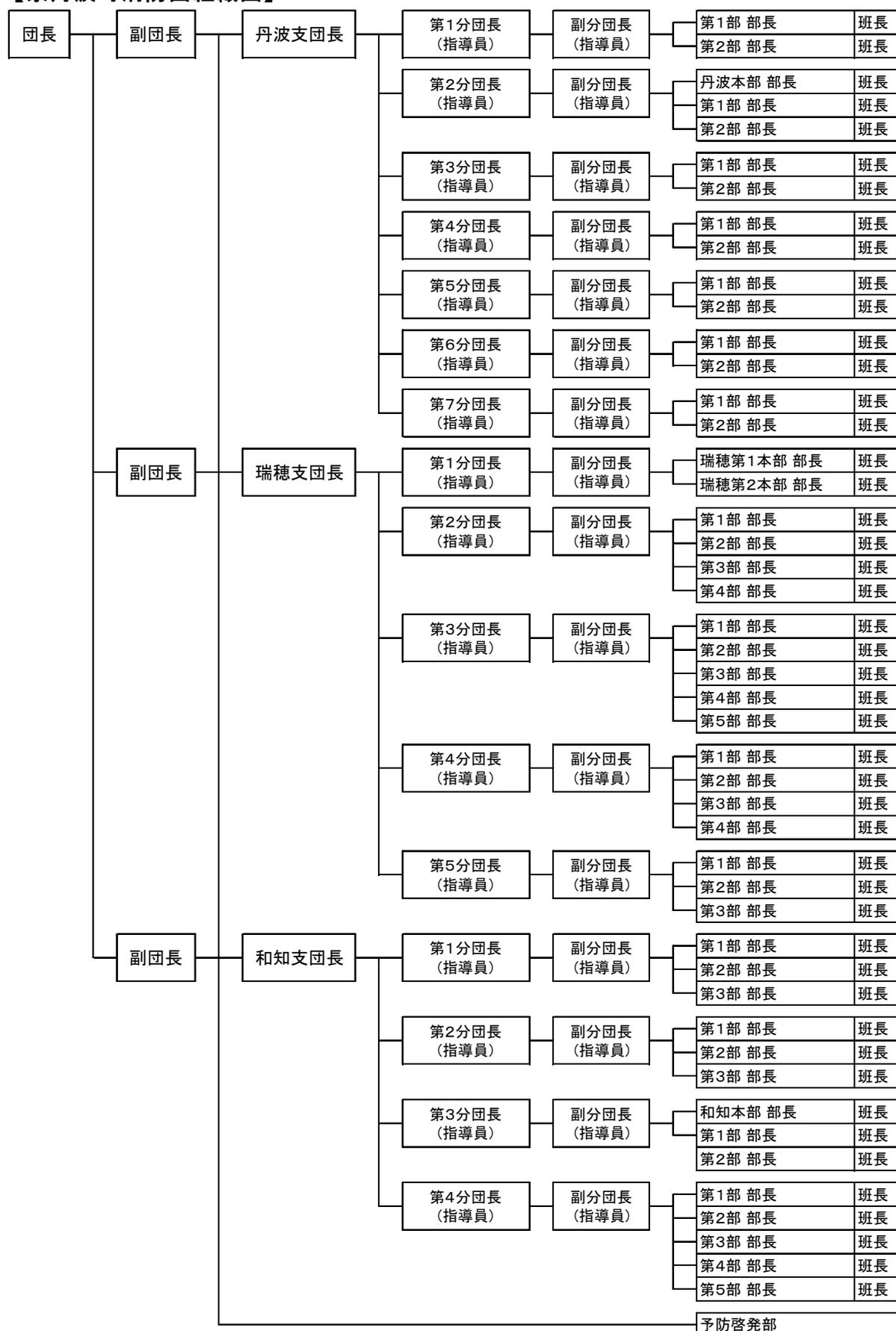


平成24年京丹波町消防団出初式



第3回京丹波町消防操法大会（平成24年）

【京丹波町消防団組織図】



# 京都中部広域消防連絡協議会

(事務局:京都中部広域消防組合消防本部総務課)

京都中部広域消防組合消防本部と関係市町消防団との緊密な連絡調整を図り、消防業務の円滑な運営を図ることを目的に昭和 57 年 4 月 1 日に発足した。

## 組 織 (平成 24 年度)

会 長 梅原 好範 (京丹波町消防団長)

副会長 浅田 晴彦 (亀岡市消防団長)

副会長 小林 敏雄 (南丹市消防団長)

## 事 業 (平成 24 年度)

連絡協議会の開催(2回)

常備・非常備消防の活動資料提供(2月)

春・秋季火災予防運動の推進



平成 19 年度 視察研修 (京丹後市)



平成 21 年度 視察研修 (舞鶴市)

# 京都中部幼年婦人防火委員会

(事務局:京都中部広域消防組合消防本部消防課)

京都中部広域消防組合管内の幼年消防クラブ等の結成の促進、組織の拡大及び育成に努め、安全な地域社会づくりに資することを目的に、昭和 62 年 4 月 1 日に発足した。

## 組 織 (平成 24 年度)

会 長	野々村邦広 (京都中部広域消防組合 消防長)
委 員	川勝 義郎 (亀岡市自治会連合会 副会長)
委 員	鈴木 格夫 (亀岡市幼年消防クラブ連絡協議会 会長)
委 員	吉田 博美 (南丹船井幼年消防クラブ連絡協議会 会長)
委 員	梅原 好範 (京都中部広域消防連絡協議会 会長)
委 員	長澤 憲司 (亀岡市危険物安全協会 会長)
委 員	堀 吉宏 (南丹・船井危険物安全協会 会長)
会計監査	横江 浩司 (亀岡自衛消防隊連絡協議会 会長)
委 員	高橋 健 (南丹船井自衛消防隊連絡協議会 会長)
委 員	林 雅彦 (京都中部広域消防組合 亀岡消防署長)
委 員	中川 能季 (京都中部広域消防組合 園部消防署長)

## 事 業 (平成 24 年度)

- 防火組織の実態調査
- 定例会議の開催
- 防火七夕会の開催
- 甲種防火管理新規講習及び乙種防火管理講習の開催
- 春・秋季火災予防運動行事への参加
- 幼年消防亀岡地区防火のつどいの開催
- 平成 25 年消防出初式への参加

京都中部広域消防組合設立

30年のあゆみ

平成24年10月吉日

発行 京都中部広域消防組合

## 京都中部広域消防組合消防本部

〒621-0851 京都府亀岡市荒塚町1丁目9番1号  
TEL(0771) 22-9580  
FAX(0771) 23-4535

亀岡消防署	〒621-0851	亀岡市荒塚町1丁目9番1号	TEL(0771) 22-0119 FAX(0771) 23-4535
東分署	〒621-0826	亀岡市篠町篠向谷5番地の1	TEL(0771) 23-0119 FAX(0771) 25-0119
園部消防署	〒622-0011	南丹市園部町上木崎町大將軍19番地2	TEL(0771) 62-0119 FAX(0771) 62-1719
八木出張所	〒629-0141	南丹市八木町八木河原20番地30	TEL(0771) 42-3119 FAX(0771) 42-3119
日吉出張所	〒629-0311	南丹市日吉町胡麻イカガヘラ13番地9	TEL(0771) 74-0119 FAX(0771) 74-0119
美山出張所	〒601-0755	南丹市美山町静原石橋8番地	TEL(0771) 75-0119 FAX(0771) 75-0119
丹波出張所	〒622-0203	船井郡京丹波町富田長野40番地3	TEL(0771) 82-0119 FAX(0771) 82-0119